

取扱説明書 -保証書添付-  
型番: SU-101FWP

# Superbe

10.1インチ フルセグ搭載  
防水ポータブルDVDプレーヤー



-この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます-

ご使用前に必ずこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分理解された上で正しくご使用ください。

特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。

■お読みになられた後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等、必要事項の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

<b>安全上のご注意</b> .....	4	電源の入/切.....	22
<b>防水について</b> .....	6	音量の調節.....	22
<b>付属品</b> .....	7	消音.....	22
<b>ディスクについて</b>		液晶画面を消す.....	22
再生できるディスクについて.....	8	数字入力について.....	22
CPRMについて.....	9	イヤホンで聴くとき.....	23
リージョンコードについて.....	9	その他.....	23
ディスクの保管.....	9		
ディスク構成について.....	9	<b>外部機器の再生</b> .....	23
ディスク取扱い上のご注意.....	9	<b>DVD/オーディオCDの再生</b>	
ディスク使用上のご注意.....	10	基本操作.....	24
温度の変化により水滴が付いたとき.....	10	メニュー操作.....	24
		一時停止.....	24
<b>対応メディアについて</b> .....	10	停止.....	24
<b>各部名称(本体)</b> .....	11	次へ/前へ.....	24
<b>各部名称(リモコン)</b> .....	13	早送り/巻戻し.....	24
<b>リモコンについて</b>		スロー再生.....	25
リモコン用電池の入れ方.....	15	コマ送り.....	25
リモコンの使い方.....	15	リピート再生.....	25
		ズーム.....	26
<b>電源について</b>		アングル.....	26
内蔵充電池について.....	16	音声切換.....	26
ACアダプターで使う.....	16	字幕切換.....	26
DCアダプター(自動車用電源)で使う.....	17	記録時間表示.....	26
内蔵の充電池で使うには(充電方法).....	18	数字ボタンによる再生(再生中).....	27
		数字ボタンによる再生(停止中).....	27
<b>接続方法</b>		数字ボタンによる再生(オーディオCD).....	27
テレビとの接続.....	19	プログラム再生.....	27
外部機器との接続.....	19		
		<b>USBメモリ/SDカードについて</b>	
<b>準備</b>		USBメモリ/SDカードの接続.....	29
液晶画面について.....	20	USBメモリの入れ方/取り出し.....	29
車載バッグを使用するときは.....	20	SDカードの入れ方/取り出し.....	29
お知らせ.....	21		
端子カバーの開閉.....	21		
ディスクのセット方法.....	21		
主電源の入/切.....	22		

各種ファイルの再生

再生可能なファイルについて……………30  
 基本操作……………30  
 JPEGファイルについて……………30  
 DVDと同様の操作……………30  
 停止(MP3のとき)……………31  
 停止(JPEGのとき)……………31  
 リピート再生……………31  
 ズーム……………31  
 数字ボタンによる再生……………31

CDからUSBメモリ/SDカードへ録音

録音方法……………32

DVD設定

設定方法……………34  
 設定項目の選択……………35

DVD設定(一般設定)

TV表示……………35  
 画面表示言語……………36  
 スクリーンセーバー……………36  
 ラストメモリー……………36

DVD設定(音声設定)

ステレオ……………37  
 ダイナミックレンジ……………37

DVD設定(映像設定)

シャープネス……………38  
 ブライトネス……………38  
 コントラスト……………38

DVD設定(環境設定)

テレビ信号方式……………39  
 音声言語……………39  
 字幕言語……………39  
 メニュー言語……………39  
 初期設定……………39

[TV]使いかた

本機で受信できるテレビ放送……………41  
 地上デジタル放送の特徴……………41  
 ご注意……………41  
 ワンセグ放送の特徴……………41  
 miniB-CASカードを挿入する……………42  
 miniB-CASカードを取り出すときは……………42  
 アンテナケーブルを接続する……………43  
 ロッドアンテナを接続する……………43  
 初期設定を行なう……………44  
 チャンネルリストを見る……………44  
 放送情報表示……………45  
 チャンネルを切換える……………45  
 チャンネルを入力する……………45  
 音量を調整する……………45  
 音声を切換える……………45  
 字幕を表示する……………45  
 番組表を見る……………46  
 番組情報を見る……………46  
 メニュー項目の選択……………47  
 メニュー画面を終了するには……………47  
 スキャン……………47  
 地域設定……………47  
 受信レベル……………47  
 受信モード……………47  
 中継局自動サーチ……………48  
 字幕……………48  
 その他……………48

故障かな?・・・と思ったら

その他のご注意

お手入れのしかた

結露について

免責事項

著作権について

製品仕様

アフターサービス

保証条件の内容



製品保証書

安全上のご注意

※ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
 ※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
 また、注意事項は、危害や損害の大きさと、切迫の程度を明示するために誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」の2つに区分しています。  
 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。









絵表示の例  
 の記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。  
 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。  
 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

**警告**

 水や異物が入ると火災や感電の原因となります。その時には、すぐに本体の電源を切り、お買上げ店にご相談ください。 ※火災・感電の原因となります。	 煙が出たり、変なにおいがする、異常な音があるなどの異常状態のまま使用しないでください。すぐに本体の電源を切り、煙が出なくなるのを確認してから、お買上げ店にご相談ください。 ※火災・感電の原因となります。
 この機器を使用できるのは日本国内のみです。 ※火災の原因となります。	 交流100V以外では使用しないでください。また、コンセントや配線器具の定格を超えるご使用はしないでください。 ※火災・感電の原因となります。
 機器の裏ぶた、カバーを開けたり、分解、修理、改造をしないでください。 ※火災・感電の原因となります。	 雷が鳴り始めたら本体やACアダプター(車載用DCアダプター)に触れないでください。 ※感電の原因となります。
 本体やACアダプター(車載用DCアダプター)に布団や衣類、新聞を掛けて使用しないでください。 ※火災の原因となります。	 ACアダプター(車載用DCアダプター)のコードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したり、ねじったり、束ねたり、重い物を乗せたり、加熱したりしないでください。 ※火災・感電の原因となります。
 ACアダプター(車載用DCアダプター)は根元までしっかりと差し込んでください。 ※火災の原因となります。	 ACアダプター(車載用DCアダプター)のほこりなどは定期的に取り除いてください。 ※火災の原因となります。
 お手入れの際は必ずACアダプター(車載用DCアダプター)をコンセント(シガーソケット)から抜いてから行ってください。 ※火災の原因となります。	 濡れた手でACアダプター(車載用DCアダプター)の抜き差しをしないでください。 ※感電の原因となります。
 ACアダプター(車載用DCアダプター)を抜くときは、コードを持たずに、必ず先端のプラグ部分を持って抜いてください。 ※火災・感電の原因となります。	 本機はシャワー程度の常温対応はしておりますが、高温・高湿、風呂の中に直接浸水させ使用する行為はショートの原因になりますので絶対におやめください。 ※火災・感電の原因となります。







## 安全上のご注意

 <p>指定外の電池や付属以外のACアダプター(車載用DCアダプター)を使用すると、過熱などにより火災やけが、破損の原因となります。</p> <p>禁止 ※火災の原因となります。</p>	 <p>ACアダプター(車載用DCアダプター)のコードが傷んだり、発熱したときは、すぐに本体の電源を切りACアダプター(車載用DCアダプター)をコンセント(シガーソケット)から抜いてください。お買い上げの販売店または弊社カスタマーセンターに交換をご依頼ください。</p> <p>禁止 ※火災・感電の原因となります。</p>
 <p>落としたりして、キャビネットなどが破損した機器は使用しないでください。</p> <p>禁止 ※火災・感電の原因となります。</p>	 <p>付属の車載用DCアダプターは12V車用です。12V仕様の自動車でご使用ください。</p> <p>禁止 ※火災・感電の原因となります。</p>
 <p>ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。</p> <p>禁止 ※落下により、けがや破損の原因となります。</p>	 <p>本体の穴やすき間に、指やピン、針金などの金属物など、異物を入れないでください。</p> <p>禁止 ※感電・故障の原因となります。</p>
 <p>運転中は絶対に使用しないでください。</p> <p>禁止 ※事故の原因となります。</p>	 <p>高温多湿、ほこりの多い場所や、油煙のあたる場所では使用しないでください。</p> <p>禁止 ※火災・感電の原因となります。</p>

## ⚠ 注意

 <p>乳幼児の手の届かない場所に保管してください。</p> <p>必ず守る ※ディスクふたに手を挟んだりしてけがの原因となります。</p>	 <p>液晶画面には強い衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止 ※破損の原因となります。</p>
 <p>回転しているディスクには触らないでください。</p> <p>禁止 ※本機の故障、ディスクの破損などの原因となります。</p>	 <p>液晶画面は、長時間見続けしないでください。</p> <p>禁止 ※目が疲れて、視力低下の原因となります。</p>
 <p>ディスク読み込み部のレーザー光が眼に当たると危険です。レンズを直接上から見ないでください。</p> <p>禁止 ※視力障害の原因となります。</p>	 <p>電源を入れるときは、必ず音量を最小にしてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間使用しないでください。</p> <p>禁止 ※聴力障害の原因となります。</p>
 <p>ヘッドホン(イヤホン)をご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。</p> <p>必ず守る ※耳を刺激するような大きな音量は、聴力障害の原因となります。</p>	 <p>液晶画面が破損し、液漏れした際は、液体を吸い込んだり、飲み込んだりしないでください。</p> <p>禁止 ※万一、口や目に入ったときは、水で洗い流し医師の診察を受けてください。</p>
 <p>膝の上などでは使用しないでください。</p> <p>禁止 ※低温やけどの原因となります。本機の充電電池部分などは多少温度が上がります。</p>	 <p>付属品は本機の目的以外には使用しないでください。またロッドアンテナの先端で目などを傷つけないよう、十分にご注意ください。</p> <p>禁止 ※けがの原因となります。</p>
 <p>本機を移動するときは、ACアダプターや車載用DCアダプターなどのケーブルを全て外してください。</p> <p>禁止 ※破損・故障の原因となります。</p>	 <p>付属のACアダプターを本機以外の機器に使用しないでください。</p> <p>禁止 ※火災・故障の原因となります。</p>

## 安全上のご注意

 <p>窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。</p> <p>禁止 ※火災・破損の原因となります。</p>	 <p>長時間、本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>必ず守る ※火災・感電の原因となります。</p>
 <p>時計やキャッシュカード、カセットテープ、フロッピーディスクなどの近くには設置しないでください。</p> <p>必ず守る</p>	 <p>テレビやモニターの近くに設置すると、画面に色むらが起こることがあります。その際は、距離を離して設置してください。</p> <p>必ず守る</p>
 <p>プラグが変形してしまった時は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。</p> <p>必ず守る ※故障・火災感電の原因となります。</p>	 <p>ご使用約10年を目安に、安全性のご確認をお買い上げの販売店または弊社カスタマーセンターにご相談ください。</p> <p>必ず守る ※安全性のご確認は有償となります。</p>

## 防水について

本体は、IPX6相当の防水に対応しています。(リモコンは防滴仕様です。)  
雨や水しぶきがかかる場所での使用もできますが、以下の点にご注意ください。

※IPX6相当の防水とは、全方向からの散水によっても、水の侵入を防ぐことができる防水構造を意味します。  
したがって、お風呂のシャワー程度であれば使用することができます。  
しかし浴槽やプールなど水中に潜らせるといった行為については、防水性能を保証できません。

※お湯、洗剤や入浴剤が入った水等に入れないでください。  
※強い水しぶきをかけないでください。  
※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所ではディスクカバーを開けないでください。  
※水に濡れた後、ディスクカバーを開閉するときはやわらかい布で十分に水滴を拭き取ってください。  
※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所では電源アダプターや他の機器との接続をしないでください。  
※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所ではディスクカバー、左右端子カバーが確実に閉まっていることを確認してください。  
※風呂場、シャワー室などから本製品を移動する時は、すき間に水が付着している場合がありますので、やわらかい布で拭き取ってください。  
※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所に本製品を長時間放置しないでください。  
※ディスクカバー、左右端子カバー周りのパッキンは防水機能を維持するための重要な部品です。  
ゴミ、汚れ、傷が付かないように充分気をつけてください。  
パッキンにゴミが付いたときは湿気や湯気のないところで拭き取ってください。  
※以上の注意点を守らないで使用した場合、内部に水が侵入する恐れがあります。  
水の侵入による故障については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

## 付属品



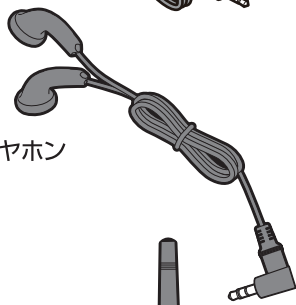
ACアダプター



車載用  
DCアダプター



AVケーブル



イヤホン



ワンセグ用  
簡易ロッドアンテナ



家庭用アンテナ接続プラグ



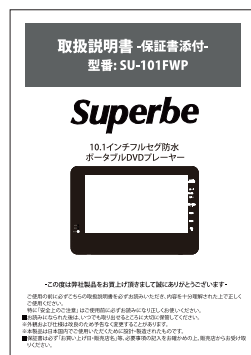
リモコン



リモコンテスト用電池



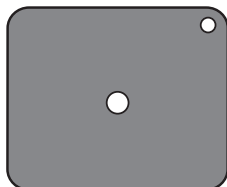
ボタン電池開閉用  
オープナー



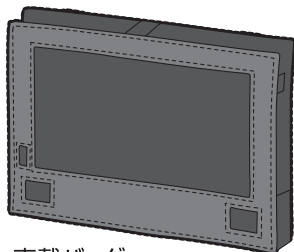
取扱説明書兼保証書



地上デジタル専用  
mini-B-CASカード



スチールボード



車載バッグ

## ディスクについて

### 再生できるディスクについて

メディア	ロゴマーク	内容
DVDビデオ		音声+映像
DVD-R		音声+映像
DVD-RW		音声+映像
DVD+R		音声+映像

メディア	ロゴマーク	内容
DVD+RW		音声+映像
音楽CD		音声
CD-R		音声+画像
CD-RW		音声+画像

- DVDやビデオCDでは、ソフト著作権側及び製作者の意図により、その再生状態や再生手順が決められている場合があります。  
本機では、製作者の意図に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。
- 業務用ディスクの中には本機で再生できないものがあります。  
本機は、全てのDVDやCDに再生互換の保証がされているわけではありません。  
DVD±R、RW・CD-R、RWディスクであっても、記録方式や、相性などにより再生できない場合があります。
- 本機はBS、地上波デジタル放送などの番組をCPRM対応のDVDレコーダーで録画したディスクを再生できます。(録画した機器でファイナライズ処理が必要です。)
- MP3・JPEGファイルは、記録形式、記録方法によっては再生できない場合があります。
- パソコン、DVDレコーダーによっては、記録したディスクを再生できない場合があります。
- 本機はVRモードで録画したDVD-R、RWが再生可能ですが、一部記録・録画用ディスクでは再生できないディスクもあります。  
本機はCPRM対応ですが、CMカットなど編集されたDVD±R、RWは、一部再生できない、または、正常に機能しない場合があります。  
長時間モードや長時間録画されたディスクは、再生できない場合があります。
- 再生するCPRMディスクによっては読み込みに1分以上かかる場合があります。  
CPRMのコピーワンスBS・CSデジタル放送(WOWOW)やスクランブル放送、PPV放送などのガードのかかった放送を録画されたDVD±R、RWは再生できない場合があります。
- AVCD方式やAVCREC方式、ハイビジョン録画方式で記録されたディスクには対応していません。  
ブルーレイディスクやHDDVD、DVD-RAMなどのディスクには対応していません。

## ディスクについて

### CPRMについて

●CPRM  
(Content Protection for Recordable Media)  
デジタルコンテンツの著作権者を保護するために記録メディアに対して採用されている著作権保護技術の一つです。

●VRモード  
(ビデオレコーディングフォーマット)  
VRモードは、主に記録後、自由に編集・操作が出来るように作られた規格で記録するモードです。

本機は、VRモードで録画、編集したDVDディスクの再生や、地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の著作権保護がなされたDVD-R・DVD-RW録画ディスクのCPRMも再生対応です。

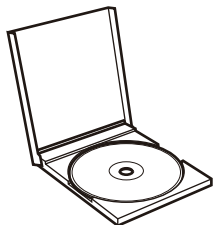
### リージョンコードについて

●本製品は、リージョンコードに「2」または「ALL」が含まれるDVD-Videoを再生することができます。  
※リージョンコードが同じでも日本向け以外のディスクでは正常に再生できない場合があります。

### ディスクの保管

●下記のような場所には保管しないでください。  
ディスクが使えなくなることがあります。  
・直射日光が当たる場所  
・湿気やほこりのある場所  
・ヒーターの近くなど熱気や熱風のあたる場所、温度や湿度の高い所には置かないでください。

●使用しないときは、ディスクを本製品から取り出し、ケースに入れて保管してください。



### ディスク構成について

●DVDディスクは通常「タイトル」で分けられ、さらにタイトルをチャプターで分けています。また、CDではトラックで分けています。

[例] DVD



[例] CD



タイトルやチャプター、トラックには順に番号がつけられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」と呼びます。ただしDVDによっては番号が記録されていないものがあります。

### ディスク取扱い上のご注意



※記録面に触れないように持ってください。



※ディスクに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。

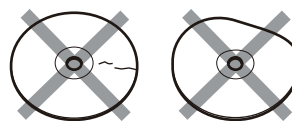
## ディスクについて

### ディスク使用上のご注意

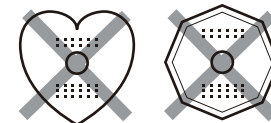
※再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですので絶対に使用しないでください。



※再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



※ひび割れや変形したディスクは絶対に使わないでください。



※ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

### 温度の変化により水滴が付いたとき

●使う前に、やわらかい布などで、必ず放射線状に軽くふき取ってください。  
完全に乾いてからお使いください。

## 対応メディアについて

### SDカード

対応メモ리카ード	SDメモ리카ード
対応容量	32GB

※最大フォルダ数・ファイル数、認識可能階層数は記録したアプリケーション、メディアによって異なります。

※階層数が多くなると、動作が不安定になることがあります。  
最大8階層をめやすに構成することを推奨します。

※SDカードの抜き差しは、本体の電源を切ってから行ってください。  
電源が入っている状態でSDカードを抜き差しすると、SDカードに記録されたデータが損失する可能性があります。

※お使いのSDカードの取扱説明書も合わせてお読みください。

### USBメモリ

インターフェース	USB2.0
対応容量	32GB

※PC用等の外付けHDDには対応していません。

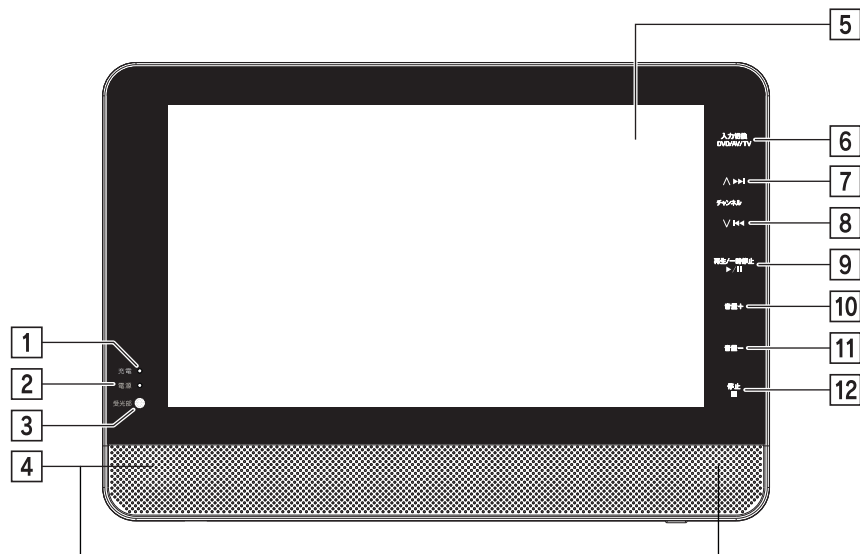
※最大フォルダ数・ファイル数、認識可能階層数は記録したアプリケーション、メディアによって異なります。

※階層数が多くなると、動作が不安定になることがあります。  
最大8階層をめやすに構成することを推奨します。

※USBメモリの抜き差しは、本体の電源を切ってから行ってください。  
電源が入っている状態でUSBメモリを抜き差しすると、USBメモリに記録されたデータが損失する可能性があります。

※お使いのUSBメモリの取扱説明書も合わせてお読みください。

## 各部名称(本体:表)



### 1 充電ランプ

- ・充電中、赤点灯します。
- ・フル充電になると緑点灯にかわります。

### 2 電源ランプ

- ・電源が「入」のとき、緑点灯します。

### 3 リモコン受光部

### 4 スピーカー

### 5 液晶画面

### 6 入力切替DVD/AV/TV・機能切換ボタン

- ・DVD→AV→TV入力を切換えます。

### 7 チャンネル [ 入 ]

- ・TVのチャンネル選択に使用します。

### 次へ [ ▶▶ ]

- ・DVDビデオ: 次へのチャプターへ移動します。
- ・オーディオCD: 次の曲へ移動します。
- ・ファイル再生中: 次のファイルへ移動します。

### 8 チャンネル [ V ]

- ・TVのチャンネル選択に使用します。

### 前へ [ ◀◀ ]

- ・DVDビデオ: 前のチャプターへ移動します。
- ・オーディオCD: 前の曲へ移動します。
- ・画像再生中: 前の画像へ移動します。

### 9 再生/一時停止 [ ▶|| ]

- ・再生します。
- ・再生中に押すと一時停止します。

### 10 音量+

- ・音量が大きくなります。

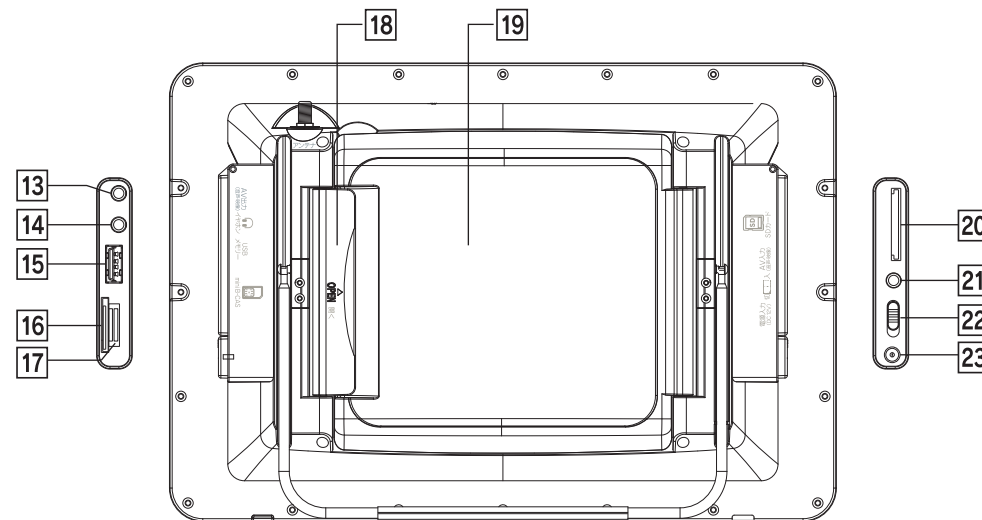
### 11 音量-

- ・音量が小さくなります。

### 12 停止 [ ■ ]

- ・停止します。
- ・一度押して停止した際は、ラストメモリーで停止します。
- ・ラストメモリー停止中に、もう一度停止を押すと通常停止します。

## 各部名称(本体:裏)



### 13 AV出力端子

- ・付属のAVケーブルを接続します。

### 14 イヤホン端子

- ・イヤホン (ヘッドホン) を接続します。

### 15 USBメモリポート

- ・USBメモリを挿入します。

### 16 miniB-CASカードスロット

- ・付属のminiB-CASカードを挿入します。

### 17 アップデート用microSDカードスロット

- ・通常使用しません。

### 18 バックル

- ・ディスクカバーをロック/ロック解除します。

### 19 ディスクカバー

- ・ディスク読取部のカバーです。ここを開いてディスクをセットします。

### 20 SDカードスロット

- ・SDカードを挿入します。

### 21 AV入力端子

- ・付属のAVケーブルを接続します。

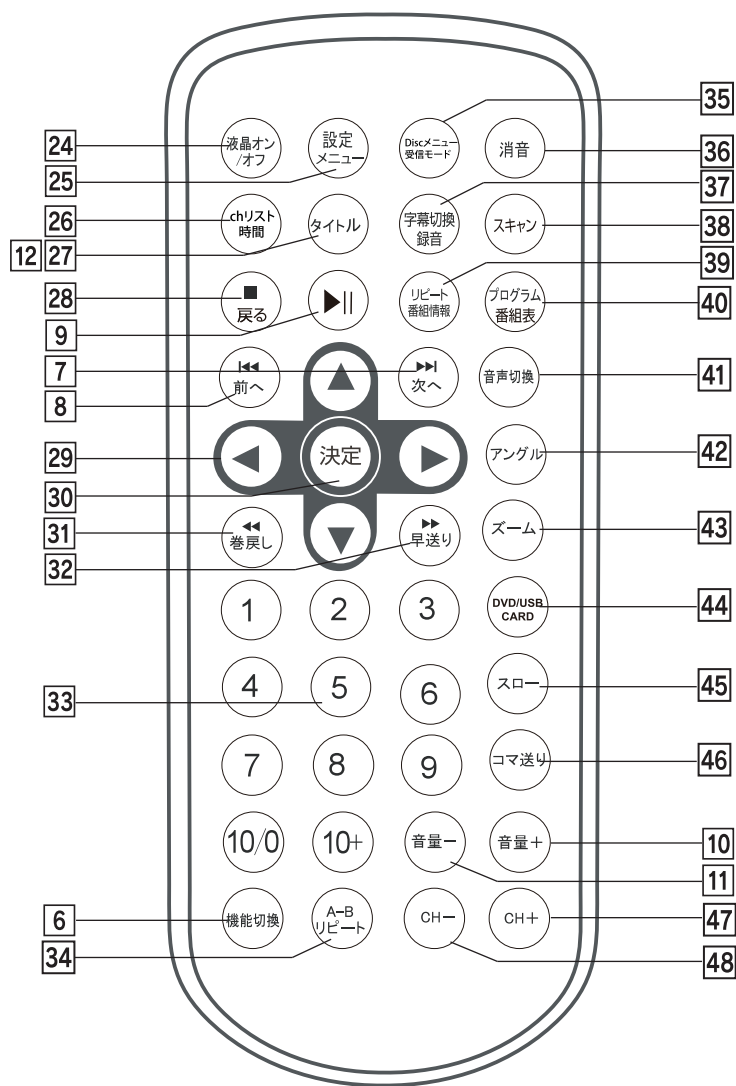
### 22 電源入/切スイッチ

- ・上にスライドすると電源が入ります。
- ・下にスライドすると電源が切れます。

### 23 DC IN 12V端子

- ・付属のACアダプター、または付属のDCアダプターを接続します。

## 各部名称(リモコン)



※ 6～12 は本体操作ボタン(P11参照)と共通機能です。

## 各部名称(リモコン)

### 24 液晶オン/オフボタン

・液晶画面のオン/オフを切り換えます。

### 25 設定/メニューボタン

・各種設定メニューが表示します。

### 26 chリスト/時間ボタン

・TVモード:チャンネルリストを表示します。  
・DVDモード:DVD/CDの再生経過時間や残り時間を画面表示します。

### 27 タイトルボタン

・タイトルを表示します。

※ディスクによってこの機能は使えません。

### 28 戻るボタン

### 29 選択ボタン

・▲▼メニュー項目・ファイル選択をします。  
・画像再生中に垂直、水平方向に画像を反転させます。  
・◀▶メニュー項目・ファイル選択をします。  
・画像再生中に時計回り、反時計回りに画像が回転します。  
・▲▼テレビのチャンネル選択に使用します。

### 30 決定ボタン

・選択した項目を決定します。

### 31 巻戻しボタン

・巻戻しをします。

### 32 早送りボタン

・早送りをします。

### 33 数字ボタン

・チャプター番号、ファイル番号など数字を選択します。

### 34 A-Bリピートボタン

・始点をA、終点をBと設定し、A-B間でのリピート再生をします。

### 35 Discメニュー/受信モードボタン

・DVDモード:ディスクメニューを表示します。  
・TVモード:受信モード切替(自動、ワンセグ、フルセグ)

※ディスクによってこの機能は使えません。

### 36 消音ボタン

・消音ボタンを押すと無音になります。再度消音ボタンを押すか音量ボタンを押すと音声が出ます。

### 37 字幕切換/録音ボタン

・字幕表示を切り換えます。  
・CDをUSB/SDに録音できます。

### 38 スキャンボタン

・テレビモードの時にボタンを押すとチャンネルスキャンを行います。

### 39 リpeat/番組情報ボタン

・ディスク再生中、チャプターやタイトルごとにリピートできます。  
・番組表を表示中に押すと、番組の詳細情報を表示できます。

### 40 プログラム/番組表ボタン

・DVD/CD、SD/USBメディアのプログラムを設定した順で再生します。  
・テレビの番組表を表示します。

### 41 音声切換ボタン

・ディスクに選択できる音声複数ある場合、押すごとに音声切り換わります。

### 42 アングルボタン

・アングル対応DVD再生時にアングル切換えが出来ます。

### 43 ズームボタン

・映像を拡大・縮小できます。

### 44 DVD/SD/USB切換ボタン

・DVD→SD→USBと各メディアに切換えます。

### 45 スロー再生ボタン

・スロー再生します。

### 46 コマ送りボタン

・ボタンを押すたびに少しずつ進みます。

### 47 CH+ボタン

・TVのチャンネル選択に使用します。

### 48 CH-ボタン

・TVのチャンネル選択に使用します。



## リモコンについて

### ⚠ 注意

電池の誤った使い方は、液もれや破裂の原因になります。つぎの点にご注意ください。

※ボタン型電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。

お子様がボタン型電池を飲み込んだ場合、中毒の原因になります。

もし飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

※長時間ご使用にならない場合は、電池をリモコンから取り出しておいてください。

※電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

※交換する電池はCR2025のみです。

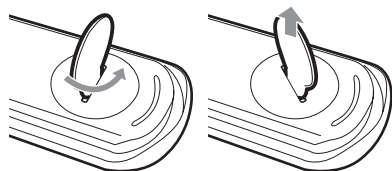
※交換する時、電池の極性+/-に注意してください。

※リモコンは防滴仕様です。水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管しないでください。

### リモコン用電池の入れ方

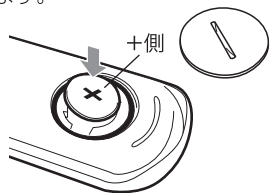
#### 1. 電池フタをはずす

リモコン背面のタブをオープナーを使って矢印の方向に廻してから、電池フタをはずす。



#### 2. ボタン型電池を入れる

ボタン型電池CR2025の十側を上にして入れます。



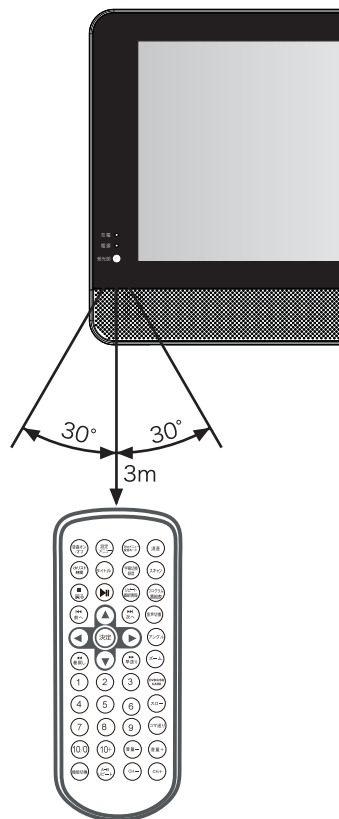
#### 3. 電池フタを戻す

電池フタをしっかりと元に戻します。

### リモコンの使い方

●リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。

●リモコンの受光範囲は受光部より約3m以内、角度は左右上下30度以内です。



## 電源について

本製品はご家庭のAC 100V電源と自動車電源(12V)および内蔵の充電式バッテリーバックで使える3電源方式です。

### 内蔵充電電池について

- ・充電中や使用中に、充電電池が異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりしたときは、すぐにACアダプター( DC アダプター)をコンセントから取り外してください。
- ・付属以外の充電電池は使用しないでください。
- ・充電電池を傷つけないでください。発熱・発火・破裂の原因となります。
- ・充電電池は火の中に入れてください。また、ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- ・本機以外の機器で充電しないでください。
- ・不要になった充電電池は、完全に放電させてから取り出し、リサイクルにご協力ください。
- ・使用環境や使用回数、時間経過によって内蔵充電電池の容量が少しずつ減少します。最大充電容量が著しく低下した際は、お買い上げの販売店または当社へ直接ご連絡ください。

### ACアダプターで使う

### ⚠ 注意

ACアダプターの誤った使い方は、火災や感電、故障の原因になります。つぎの点にご注意ください。

※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所では接続をしたり、接続したまま使用しないでください。

※同梱のACアダプター以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。

※ACアダプターはAC100V 50/60Hzのコンセントに接続してください。

※ACアダプターを接続するときは電源を切ってください。

※ご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

#### 1. 左端子カバーを開け電源入/切スイッチを「切」にする

主電源が切れます。

#### 2. ACアダプタープラグを接続する

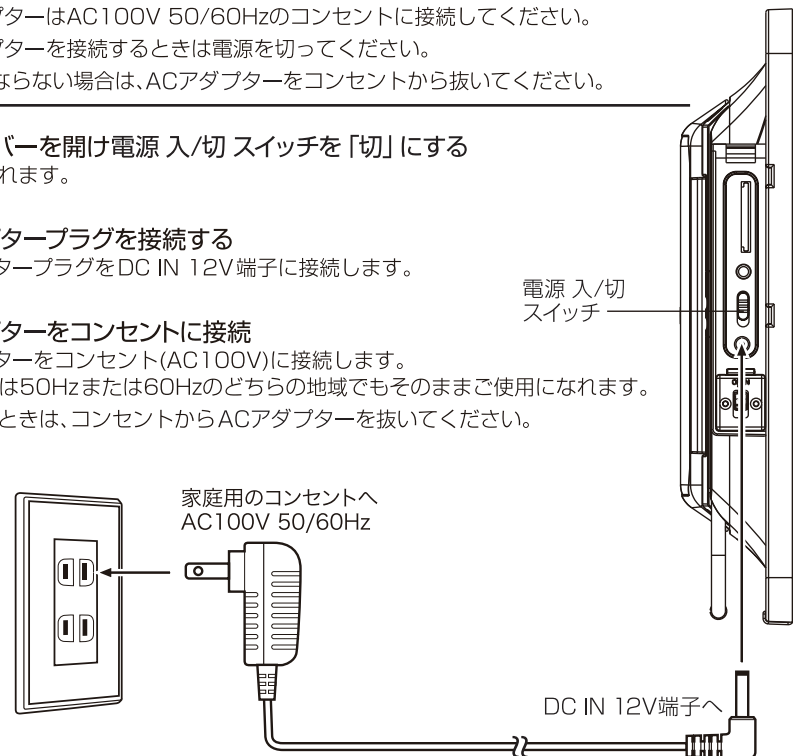
ACアダプタープラグをDC IN 12V端子に接続します。

#### 3. ACアダプターをコンセントに接続

ACアダプターをコンセント(AC100V)に接続します。

電源周波数は50Hzまたは60Hzのどちらの地域でもそのままご使用になれます。

※使わないときは、コンセントからACアダプターを抜いてください。



## 電源について

### 車載用DCアダプター(自動車用電源)で使う

#### ⚠ 注意

DCアダプターの誤った使い方は、火災や感電、故障の原因になります。  
つぎの点にご注意ください。

- ※同梱のDCアダプター以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ※DCアダプターはDC12Vの電源に接続してください。  
その他の電源には接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- ※車で使う時は仮固定してください。仮固定せずに使うと急ブレーキなどで本製品が移動し、けがや運転の妨げになり危険です。
- ※車に恒久的に取り付けしないでください。  
また、運転の妨げになる場所、エアバッグが作動する時の妨げになる場所に置かないでください。  
事故やけがの原因となります。
- ※運転する人は運転中に画面を見たり、操作をしないでください。事故の原因となります。
- ※DCアダプターを接続するときは電源を切ってください。
- ※ご使用にならない場合は、DCアダプターをシガーソケットから抜いてください。

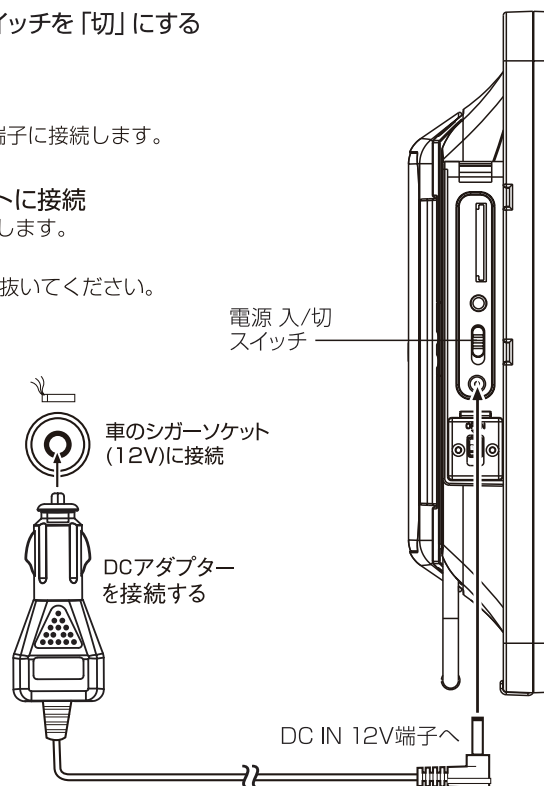
1. 左端子カバーを開け電源入/切スイッチを「切」にする  
主電源が切れます。

2. DCアダプタープラグを接続する  
DCアダプタープラグをDC IN 12V端子に接続します。

3. DCアダプターを車のシガーソケットに接続  
DCアダプターをシガーソケットに接続します。  
※DCアダプターを使わないときは、  
シガーソケットからDCアダプターを抜いてください。

#### DCアダプターに関するご注意

- 付属のDCアダプターは、車のエンジンを始動させてから、接続してください。  
DCアダプターを接続させてから、車のエンジンをスタートさせると、急激な電圧の変動により、本機の故障や不具合の原因になることがあります。
- 車種により、DCアダプターで充電ができない場合や充電が完了にならない場合があります。
- 本機は、充電できる温度範囲を外れると安全性の為に、本機の保護動作回路が働き、充電ができなくなります。  
本機が充電できる温度範囲に戻してください。(動作環境温度:-10℃~60℃)



## 電源について

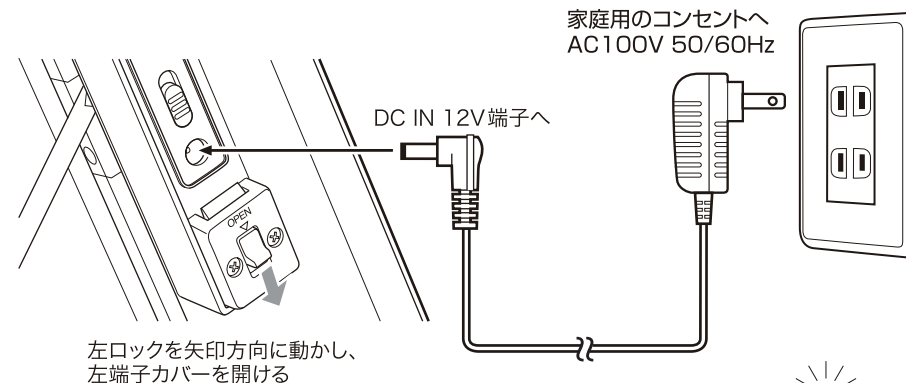
### 内蔵の充電電池で使う(充電方法)

#### ⚠ 注意

内蔵充電電池およびACアダプターの誤った使い方は、火災や感電、故障の原因になります。  
つぎの点にご注意ください。

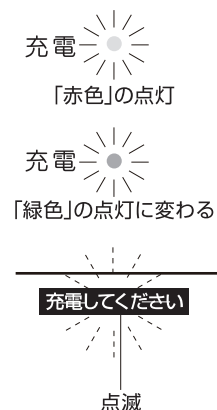
- ※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所では接続したり、接続したまま使用しないでください。
- ※同梱のACアダプター以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ※ACアダプターはAC100V50/60Hzのコンセントに接続してください。
- ※ACアダプターを接続するときは電源を切ってください。
- ※ご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ※充電が完了したら、速やかにACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ※内蔵充電電池は繰り返しの充放電により消耗しますが、交換はできません。

1. 左端子カバーを開け電源入/切スイッチを「切」にする  
主電源が切れます。
2. 14ページの“ACアダプターで使う”にしたがって、ACアダプターを接続する  
ACアダプタープラグをDC IN 12V端子に接続します。



3. ACアダプターを接続すると充電が開始され、  
充電ランプが「赤色」に点灯する
4. 充電が完了すると充電ランプが「緑色」の点灯に変わる
  - 充電時間は電源を切った状態で約3時間、DVD連続再生時間は約2時間です。
  - 電池の充電量が少なくなると画面に「充電してください」と表示されます。

※使用されないときは、電源コンセントからACアダプターを抜いてください。



## 接続方法

### テレビとの接続

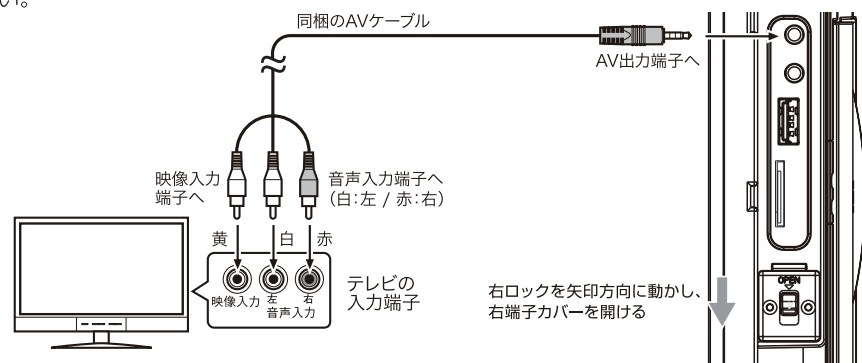
付属のAVケーブルの3.5mmプラグを、本体側面のAV出力端子にしっかりと差し込み、ピンプラグをテレビやモニターの映像・音声入力端子に差し込んでください。

- 機器の接続をおこなうときは、必ず電源を切り電源アダプターをコンセントから抜いておこなってください。
- 接続の詳細はテレビの取扱説明書を参照してください。

※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所では接続をしたり、接続したまま使用しないでください。

※本製品の音量も調節してください。本製品の音量が小さかったり消音になっていると、テレビからの音が小さかったり、出なかったりします。

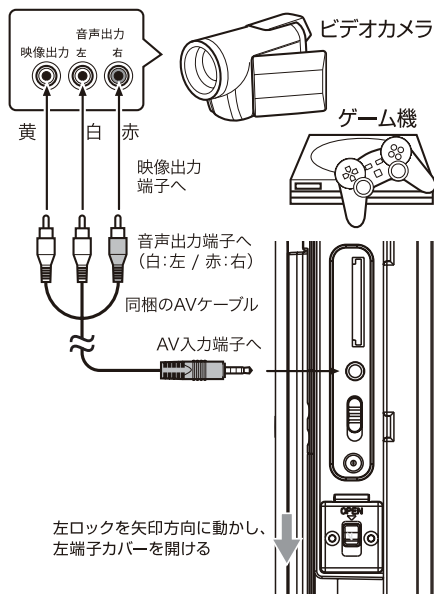
※4極ミニプラグ(映像/音声)の配線仕様は統一されておりませんので他社のケーブルを接続した場合は映らないことがあります。純正品ケーブルをご使用ください。



### 外部機器との接続

付属のAVケーブルの3.5mmプラグを、本体側面のAV入力端子にしっかりと差し込み、ピンプラグを外部機器の映像・音声出力端子に差し込んでください。

- 機器の接続をおこなうときは、必ず電源を切り電源アダプターをコンセントから抜いておこなってください。
- 接続の詳細はテレビの取扱説明書を参照してください。



※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所では接続をしたり、接続したまま使用しないでください。

左ロックを矢印方向に動かし、左端子カバーを開ける

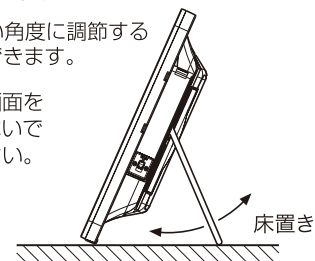
## 準備

### 液晶画面について

プレーヤー部をしっかりと押さえながら、角度を調節します。

- 見やすい角度に調節することができます。

※液晶画面を押さないでください。



### 車載バッグを使用するときは

1. 車載用カバーをヘッドレストの後ろに置き、ベルトでしっかりと固定する

2. 本製品を入れる

3. 上カバーをしっかりと閉める

必要に応じてDCアダプターを接続してください。

※リモコンは受光部に向けて操作してください。

※車種によって取り付けができない場合があります。



- ・チャイルドシートやジュニアシートなどの正面面でのご使用はお避けください。
- ・エアバッグの妨げになる場所には設置しないでください。
- ・エアバッグが動作しなかったり、エアバッグ動作時に本機が破損し、けがをするおそれがあります。
- ・本機は車載専用のDVDプレーヤーではありません。車内に放置したままにしないでください。
- ・背もたれとヘッドレストが一体化したシートには設置できません。
- ・また、ヘッドレストの形状によっては正しく取付けられない場合があります。
- ・必ず正しく固定されているか確認してから設置してください。
- ・車載用バッグのベルトは時間経過により自然と緩むことがあります。ご使用前に必ず正しく固定されているかを確認してください。
- ・ヘッドレストやシートに取付け跡が残る場合があります。
- ・誤った使用および改造してご使用になった際の事故などにつきましては、当社は一切その責任を負いませんので予めご了承ください。

## 準備

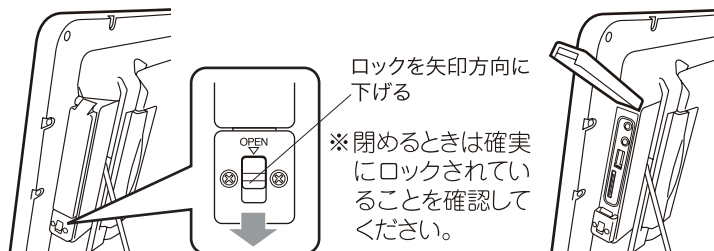
### お知らせ

本取扱説明書ではリモコン操作を中心に説明していますので、本体での操作は下表を参照ください。

本体	リモコン	機能
	—	本体では主電源の入/切をします。リモコンに電源ボタンはありません。
入力切換 DVD/AV/TV	機能切換	入力を切り換えます。
		次のチャプター/トラックに移動し再生をはじめます。
		前のチャプター/トラックに移動し再生をはじめます。
再生/一時停止 		再生を開始したり、一時停止するときを押します。また、通常の再生に戻るときにも押します。
音量+		音量を大きくします。
音量-		音量を小さくします。
停止 		停止するときを押します。

### 端子カバーの開閉

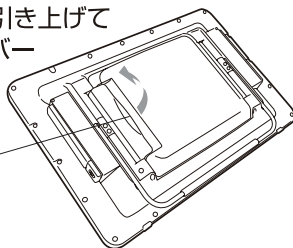
左右のロックを下げると端子カバーが開きます



### ディスクのセット方法

1. バックルを引き上げてディスクカバーを開ける

バックルを引き上げる

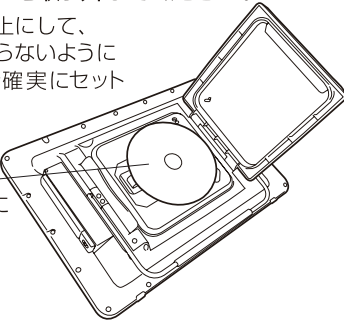


2. ディスクをセットする

※はじめてお使いになるときは必ずレンズの保護カバーを取り外してください。

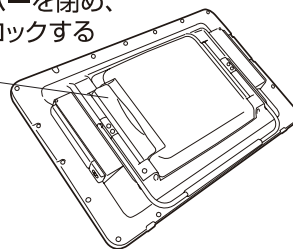
レーベル面を上にして、記録面をさわらないようにしてディスクを確実にセットします。

レーベル面を上にして確実にセットします。



3. ディスクカバーを閉め、バックルをロックする

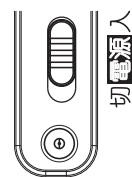
バックルをしっかりとロックする



## 準備

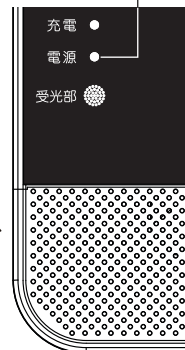
### 主電源の入/切

- 本体の電源を入れる  
主電源が入ります。

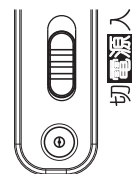


電源ランプが「緑」に点灯し、画面が表示されます。

電源ランプが点灯



- 本体の電源を切る  
主電源が切れます。



- 使わないときは電源をお切りください。

※本機は約35分間操作を行わない場合、スタンバイモードに移行します。スタンバイモードから復帰するには、リモコンの(電源)ボタンを押すか、本体の【電源スイッチ】を「切」の位置にして電源を切ってから、再度電源を入れてください。

※スタンバイモード中、本機の電源ランプは緑色に点灯します。

### 音量の調節

- (音量+) (音量-) を押して音量を調節する  
音量レベルは00から20です。

### 消音

- (消音) を押す  
もう一度押すと元の音量になります。

### 液晶画面を消す

- (液晶オフ) を押す  
液晶画面が消えます。  
もう一度押すと液晶画面が表示されます。

### 数字入力について

本取扱説明書では数字ボタンでの入力操作があります。数字の入力方法は下記の方法にしてください。

#### ■タイトル/チャプター/トラックの番号入力

- 1～10の時は (1)～(0/10) を押し、11以上の時は最初に (10+) を押し、次に (0/10)～(9) を押します。

(例) 8のときは (8) を押します。

10のときは (0/10) を押します。

32のときは (10+) を3回押し、次に (2) を押します。

#### ■各種ファイル再生の時の番号入力

- 1～9の時は (1)～(9) を押し、10以上の時は大きい桁の数字から押します。

(例) 8のときは (8) を押します。

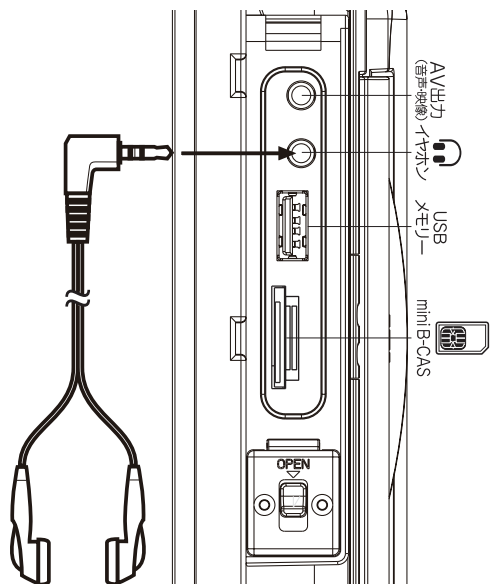
10のときは (1) を押し、次に (0/10) を押します。

106のときは (1) を押し、次に (0/10) を押し、最後に (6) を押します。

## 準備

### イヤホンで聴くとき

1. 音量を最小にする
2. イヤホンプラグをイヤホン端子に接続する  
※イヤホンを耳につけたまま、端子に接続しないでください。
3. 音量を調節する  
※イヤホンを長時間使用しますと耳に悪影響を与えることがありますのでご注意ください。



### その他

ボタン操作で無効な操作をすると画面左上に図のような表示が出ます。

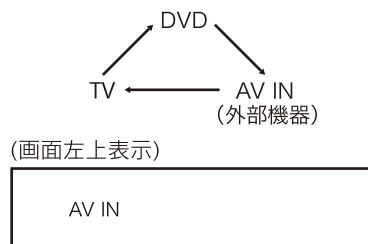


## 外部機器の再生

### 注意

- ※接続するときは本製品および外部機器の電源を切ってください。
- ※あらかじめ本製品および外部機器の音量を小さくしてください。

1. 外部機器を接続する  
接続方法は19ページ参照。
2. 本製品および外部機器の電源を入れる
3. **機能切替**を押して“AV IN”に切り換える  
押すたびに下記のように切り換えることができます。



4. 外部機器の再生をはじめ
5. 音量を調節する  
本製品および外部機器の音量を調節します。

## DVD/オーディオCDの再生

### 基本操作

1. バックルを引き上げてディスクカバーを開ける(21ページ参照)
2. ディスクをセットする  
レーベル面を上にして確実にセットします。
3. ディスクカバーを閉め、バックルをロックする(21ページ参照)
4. 電源を入れる(22ページ参照)  
自動的に読み込みがはじまり、読み込みが終了すると再生がはじまります。  
●DVDによってはメニュー画面が表示されるものがあります。  
その場合は**▲****▼****◀****▶**でメニュー項目を選択し**決定**を押してください。

### メニュー操作

- 再生中に**メニュー切替**を押す  
メニュー画面が表示されます。  
表示されるメニューはソフトにより異なります。  
※ディスクによってはこの機能は使えません。
- 視聴していたシーンに戻るには**メニュー切替**または**戻る**を押します。  
●ディスクによっては**タイトル**を押すとタイトルメニュー画面が表示されます。  
表示されるメニューはソフトにより異なり、操作は画面の表示にしたがってください。

### 一時停止

1. **一時停止**を押す  
再生中に押すと一時停止します。  
一時停止中は画面右上に表示がでます。



2. 再度**一時停止**を押す  
通常の再生に戻ります。

### 停止/仮停止

1. **戻る**を押す  
仮停止中は画面左上に表示がでます。

#### ▶/||キーで継続再生

2. **一時停止**を押す  
ふたたび停止したところから再生がはじまります。
3. **戻る**を2回押す  
再生を停止します。  
※次の再生は最初から再生されます。

### 次へ/前へ

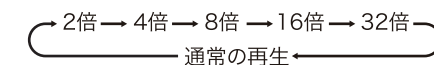
再生中または一時停止中に操作をします。

1. **次へ**を押す  
次のチャプター/トラックに移動し再生をはじめます。
2. **前へ**を押す  
前のチャプター/トラックの先頭に移動し再生をはじめます。

### 早送り/巻戻し

再生中に操作します。

1. **早送り**を押す  
押すたびに再生速度が5段階で切り換わり、5段階目で再度押すと通常の再生に戻ります。



同様に**巻戻し**を押すと巻戻し再生をします

## DVD/オーディオCDの再生

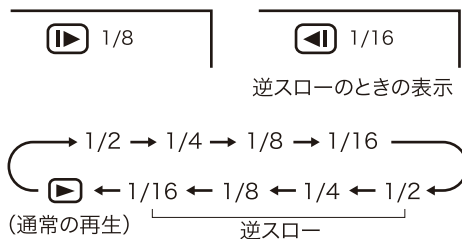
### スロー再生

再生中または一時停止中に操作します。

#### スローを押す

画面には速度が表示されます。

ボタンを押すたびに再生速度が下記の図のように遅くなり1/16のあと、逆方向のスローになります。



※スロー再生中は音が出ません。

● **再生**を押すと通常の再生に戻ります。

### コマ送り

再生中または一時停止中に操作します。

#### コマ送りを押す

コマ送りを押すたびに少しづつ進みます。



※コマ送り再生中は音が出ません。

● **再生**を押すと通常の再生に戻ります。

### リピート再生

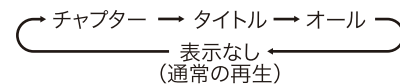
再生中のディスク/タイトル/チャプター/トラックを繰り返して再生します。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

#### リピートを押す

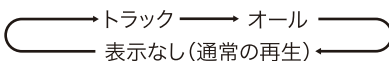
ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切り換わります。

#### DVD



- **チャプター:**  
選択したチャプターがリピート再生されます。
- **タイトル:**  
選択したタイトルがリピート再生されます。
- **オール:**  
ディスクのすべてがリピート再生されます。

#### オーディオCD



- **トラック:**  
選択したトラックがリピート再生されます。
- **オール:**  
すべてのトラックがリピート再生されます。

## DVD/オーディオCDの再生

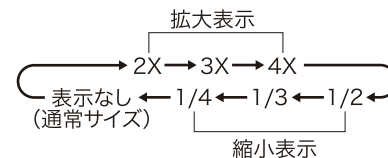
### ズーム

画面を拡大、縮小表示します。

#### ズームを押す

ボタンを押すたびに倍率が切り換わります。

画面には倍率が表示されます。



※表示される倍率は実際の倍率とは異なり目安です。

● 拡大表示されているときには **上** **下** **左** **右**を押して画像を移動することができます。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

### アングル

複数のアングルが記録されたDVDを再生するときに、同じシーンを異なるアングルから見るすることができます。

#### 再生中にアングルを押す

ボタンを押すたびに異なるアングルに切り換わります。

※この機能が記録されていないDVDではこの機能は使えません。アングル対応かどうかはディスクのケースやジャケットをご覧ください。

### 音声切替

#### DVD

● 複数の音声を記録したDVDを再生する場合、音声の選択ができます。

#### 再生中に音声切替を押す

ボタンを押すたびに音声の番号、種類、音声言語が画面に表示され、音声を切り換えることができます。

※この選択は複数の音声データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。

※音声の種類および数はソフトにより異なります。  
※ディスクによってはこの機能は使えません。

### オーディオCD

#### 音声切替を押す

ボタンを押すたびに他の音声設定が画面に表示され、音声を切り換えることができます。



### 字幕切替

字幕を表示します。

● 複数の言語による字幕を記録したDVDを再生する場合、字幕言語の選択ができます。

#### 再生中に字幕切替を押す

ボタンを押すたびに字幕の番号、字幕言語が画面に表示され、字幕を切り換えることができます。

※この選択は複数の字幕データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。

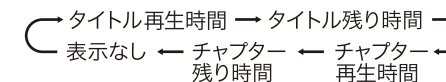
※字幕の種類および数はソフトにより異なります。  
※ディスクによってはこの機能は使えません。

### 記録時間表示

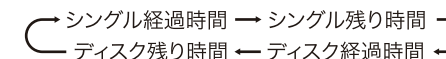
#### クリスト時間を押す

ボタンを押すたびに画面表示が切り換わります。さらに押すと画面表示が消えます。

#### DVD



#### オーディオCD



## DVD/オーディオCDの再生

### 数字ボタンによる再生(再生中)

※チャプターがひとつしかないタイトルを再生しているときはこの機能は使えません。

DVD再生中に数字ボタン **1** ~ **0/10**、**10+** を押す (22ページ参照)

※無効な数字は入力できません。

チャプター番号4を入力したとき

タイトル03/17 チャプター04/36

指定したシーンから再生がはじまります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

### 数字ボタンによる再生(停止中)

1. DVD停止中に数字ボタン **1** ~ **0/10**、**10+** を押す

タイトル入力画面が表示されます。

タイトル番号入力

タイトル

2. 数字ボタン **1** ~ **0/10**、**10+** で視聴したいタイトル番号を入力 (20ページ参照)

※無効な数字は入力できません。

チャプター1から再生がはじまり、チャプター入力画面が表示されます。

タイトル番号5を入力したとき

チャプター番号入力

タイトル05/18 チャプター /36

3. 視聴したいチャプター番号を入力

※しばらく操作をしないと入力画面は消えます。

指定したシーンから再生がはじまります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

### 数字ボタンによる再生(オーディオCD)

数字ボタン **1** ~ **0/10**、**10+** を押す

(22ページ参照)

トラック入力画面が表示されます。

トラック(曲)番号12を入力したとき

トラック選択:12/15  
00:03

指定したシーンから再生がはじまります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

### プログラム再生

プログラム設定した順序で再生します。

1. **プログラム** を押す

プログラム設定画面が表示されます。

1	TT:	CH:	6	TT:	CH:
2	TT:	CH:	7	TT:	CH:
3	TT:	CH:	8	TT:	CH:
4	TT:	CH:	9	TT:	CH:
5	TT:	CH:	10	TT:	CH:
		閉じる			次のページ

●タイトルが一つしかないDVDまたはオーディオCDでは図のような設定画面になり、チャプター番号またはトラック番号のみを入力します。

1	---	6	---
2	---	7	---
3	---	8	---
4	---	9	---
5	---	10	---
		閉じる	次のページ

2. 数字ボタン **1** ~ **0/10**、**10+** でタイトル番号を入力 (22ページ参照)

カーソルがチャプター番号入力欄に移動します。

※無効な数字は入力されません。

## DVD/オーディオCDの再生

3. 数字ボタン **1** ~ **0/10**、**10+** でチャプター番号を入力

カーソルが次のプログラム番号に移動します。

1	TT:03	CH:18	6	TT:	CH:
2	TT:	CH:	7	TT:	CH:
3	TT:	CH:	8	TT:	CH:
4	TT:	CH:	9	TT:	CH:
5	TT:	CH:	10	TT:	CH:
		閉じる			スタート
					次のページへ

4. 2.~3.を繰り返し、プログラム設定する

5. 10番目の入力完了したら

**▲▼◀▶** で“次のページ”にカーソルを合わせ **決定** を押すか **▶** を押す

●プログラムできる数は20です。

●**1** ~ **10** のプログラム設定画面に戻るときは、**▲▼◀▶** で“前のページ”にカーソルを合わせ **決定** を押すか **◀** を押すと戻ります。

14	TT:04	CH:03	19	TT:07	CH:02
15	TT:08	CH:02	20	TT:04	CH:06
		前のページへ			閉じる
					スタート

●入力したプログラムを訂正するときには、**▲▼◀▶** で入力したプログラムにカーソルを合わせ、再度プログラム入力し **▲▼◀▶** で他のプログラムにカーソルを移します。  
※再生開始後のプログラムの訂正はできません。

●プログラム設定をし直すときは、**プログラム** を押すか、**▲▼◀▶** で“終了”にカーソルを合わせ、**決定** を押し再度設定し直します。

14	TT:04	CH:03	19	TT:07	CH:02
15	TT:08	CH:02	20	TT:04	CH:06
		前のページへ			閉じる
					スタート

●プログラム設定画面を閉じるときは **プログラム** を押すか **▲▼◀▶** で“終了”にカーソルを合わせ **決定** を押します。

14	TT:04	CH:03	19	TT:07	CH:02
15	TT:08	CH:02	20	TT:04	CH:06
		前のページへ			閉じる
					スタート

6. 入力が完了したら **◀▶** で“開始”にカーソルを合わせ **決定** を押す  
プログラム再生を開始します。

●プログラム再生中、プログラム設定を全て削除するときには **プログラム** を押し、プログラム設定画面に戻し **▲▼◀▶** で“停止”にカーソルを合わせ **決定** を押します。

4	TT:02	CH:11	9	TT:03	CH:01
5	TT:05	CH:02	10	TT:04	CH:02
		閉じる			スタート
					次のページへ

※プログラム再生が終了するとプログラム設定は消去されます。

※電源を切る、停止ボタンを2回押す、ディスクを取り出した場合などはプログラムが解除されます。

## USBメモリ/SDカードについて

### USBメモリ/SDカードの接続

1. USBメモリ/SDカードを挿入する  
本製品側面のUSB端子/SDカードスロットに挿入します。
2. 電源を入れる
3. で“DVD”を選択しDVD再生に切り換える
4. を押す

“切替中”の表示が出た後、フォルダー/ファイルが表示されます。  
切り換えに時間がかかる場合があります。

- USBメモリ再生の場合、ディスクが入っていないときは押す必要はありません。
- SDカード再生の場合、ディスクおよびUSBメモリが入っていないときは押す必要はありません。
- SDカード再生の場合、ディスクまたはUSBメモリのどちらかが挿入されているときは1回押します。
- SDカード再生の場合、ディスクが入っていてUSBメモリが挿入されているときは2回押します。
- ディスク再生に戻るときは を1～2回押します。
- MP3、JPEGの再生については、30ページからの説明にしたがってください。

### USBメモリの入れ方/取り出し方

本体側面のUSBポートに、USBメモリを挿入する際は、プラグの向きにご確認ください。

※対応する、全てのUSBメモリの動作を保証するものではありません。

※PC用等の外付けHDDなどに対応していません。

※USBメモリの抜き差しは、電源が切れている状態で行ってください。

本機の電源が入っている状態で、USBメモリの抜き差しをすると、USBメモリを傷めたり、データの損失、本機の誤動作を招くことがあります。その場合弊社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

※USBメモリは精密機器です。乱暴に扱わないでください。また、静電気をおびていると認識されなかつたり本機が誤動作を起こす場合があります。

### SDカードの入れ方/取り出し方

本体側面のSDカードスロットに、SDカードを挿入する際は、カードの向きにご確認ください。

※対応する、全てのSDカードの動作を保証するものではありません。

※SDカードの抜き差しは、電源が切れている状態で行ってください。

本機の電源が入っている状態で、SDカードの抜き差しをすると、SDカードを傷めたり、データの損失、本機の誤動作を招くことがあります。その場合弊社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

※SDカードは精密機器です。乱暴に扱わないでください。また、静電気をおびていると認識されなかつたり本機が誤動作を起こす場合があります。

## 各種ファイルの再生

### 再生可能なファイルについて

本機ではディスク、USBメモリ、SDカードに記録された下記のファイルを再生できます。

**MP3ファイル** ファイル形式: mp3(MPEG Audio Layer3)

**JPEGファイル** ファイル形式: jpg

**AVIファイル** ファイル形式: .avi

※対応ファイルであっても、作成方法や作成した機器によっては本製品で再生できない場合があります。

### 基本操作

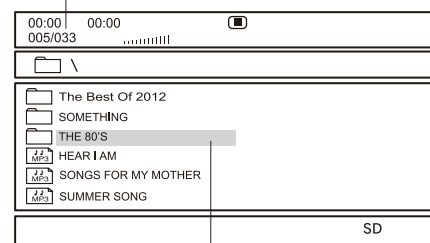
1. ディスク、USBメモリまたはSDカードをセットする
  2. ディスク、USBメモリまたはSDカードを選ぶ
- フォルダー/ファイルが表示されます。

### お知らせ

※本製品では表示できない文字や内容があります。

3. で再生したいフォルダー/ファイルをカーソルで選択する

フォルダーおよびファイル番号/総フォルダーおよびファイル数



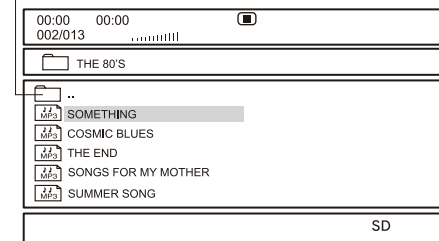
選択したフォルダー/ファイル(オレンジのカーソル)

- を押すとファイルだけの表示になり、再度押すとフォルダー/ファイルの表示になります。
- フォルダーを選択したときは、フォルダー内のファイルを選択します。

- フォルダーを選択したあと または を押すとフォルダー内を見ることができます。

- 上の階層に移動するときは を押すか、“ ..”を選択し を押します。

上の階層画面に戻ります



- 停止状態で を押すと次のページに移動し、 を押すと前のページに移動します。

4. を押す  
選択したファイルから再生がはじまります。

### JPEGファイルについて

- JPEGファイルを選択すると、スライドショーがはじまります。
- スライドショーの再生または一時停止中に で画像を反転/回転させることができます。

### DVDと同様の操作

- 一時停止 ..... 24ページ参照
- 次へ/前へ ..... 24ページ参照
- 早送り/早戻し ..... 24ページ参照 (MP3のみ)



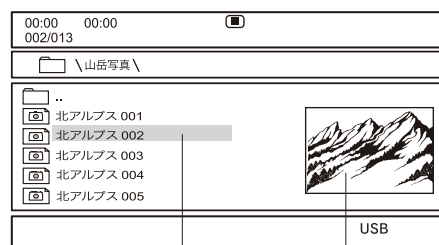
## 各種ファイルの再生

### 停止(MP3のとき)

を押す  
再生を停止します。

### 停止(JPEGのとき)

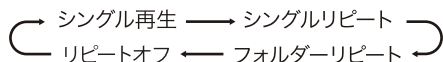
を押す  
再生中に押すと停止し、フォルダー/ファイルとサムネイル(縮小画像)が表示されます。



現在のファイル      サムネイル表示  
(オレンジのカーソル)

### リピート再生

を押す  
ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切り換わります。

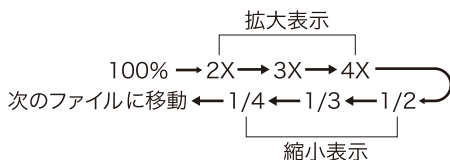


- シングル再生:  
選択したファイルが再生されます。
  - シングルリピート:  
選択したファイルがリピート再生されます。
  - フォルダーリピート:  
選択したフォルダーがリピート再生されます。
  - リピートオフ:  
リピートがされない状態に戻ります。
- ※JPEGファイル再生時に操作をしたときはシングル再生はありません。  
※JPEGのリピート再生時はリピート名が表示されます。

### ズーム

を押す  
ボタンを押すたびに倍率が下記の順序で切り換わります。

画面には倍率が表示されます。



※ズーム表示中はズーム表示は消えません。

- ズーム表示中は一時停止の状態になります。
- を押すとスライドショーが再開されます。
- ※表示される倍率は実際の倍率とは異なる目安です。
- 拡大表示されているとき を押して画像を移動することができます。

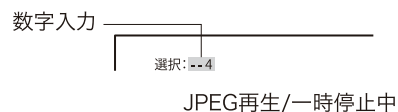
### 数字ボタンによる再生

数字ボタン ~ で聴きたいファイル番号を入力する(20ページ参照)

ファイル入力画面が表示されます。



数字入力(緑のカーソル)  
MP3、JPEG停止中



- フォルダーも1つのファイルとして認識されます。

指定したファイルから再生がはじまります。

## CDからUSBメモリ/SDカードへ録音

- 本製品ではCDからUSBメモリ/SDカードへのMP3録音ができます。

### 録音方法

1. CDをセットする
2. を押す  
設定画面が表示されます。  
※ディスクが選択されていないときは、ディスク再生に切り換えてください。
3. USBメモリ、SDカードをセットする

選択されている設定メニュー(黄色)

CD録音		トラック	
オプション			
速度	標準	track01	04:26
ビットレート	128kbps	track02	03:41
ID3情報		track03	04:45
メディア	USB	track04	04:30
録音情報		track05	04:20
トラック	0	track06	04:51
タイム	00:00	track07	03:28
開始	戻る	すべて選択	すべて取消

4. で設定したい設定メニューを選択する
5. を押して、設定値を決める  
押すたびに設定値が変わります。  
設定項目および設定値は以下ようになります。

### 速度

録音速度の設定をします。

- 標準:等倍速
- 倍速:2倍速(録音中、音が出ません)

### ビットレート

ビットレートの設定。  
対応ビットレートは、96~320kbpsです。  
より良い音質のためには、128kbps以上のビットレートでの録音をおすすめします。

- 96kbps
- 112kbps
- 128kbps
- 192kbps
- 256kbps
- 320kbps

### ID3情報

#### お知らせ

※設定メニューはありますが、本製品ではこの機能は使えません。

### メディア

録音するUSBメモリまたはSDカードを選択します。

- USB : USBメモリ
- SD : SDカード
- なし : 何も差し込まれていないとき

## CDからUSBメモリ/SDカードへ録音

6. で録音するトラック(曲)にカーソルを合わせ を押す

チェックマークが表示されます。

CD録音	
オプション	トラック
速度 標準	track01 04:26
ビットレート 128kbps	track02 03:41
ID3情報	<input checked="" type="checkbox"/> track03 04:45
メディア USB	track04 04:30
	track05 04:20
	track06 04:51
	track07 03:28
録音情報	
トラック 1	
タイム 04:45	
開始	戻る
	すべて選択
	すべて取消

カーソルを合わせて を押すと次のトラックが表示されます

7. 6.の操作を繰り返して、録音したいトラックを選択する

- CDに入っている全てのトラックを録音するときは“すべて選択”を選び を押します。
- チェックしたトラックのチェックをはずすには、トラックにカーソルを合わせ を押します。チェックマークが消えます。
- 全てのトラックのチェックをはずすには“すべて取消”にカーソルを合わせ を押します。
- 中止するときは“戻る”にカーソルを合わせ を押します。

CD録音	
オプション	トラック
速度 標準	<input checked="" type="checkbox"/> track01 04:26
ビットレート 128kbps	track02 03:41
ID3情報	<input checked="" type="checkbox"/> track03 04:45
メディア USB	track04 04:30
	<input checked="" type="checkbox"/> track05 04:20
	<input checked="" type="checkbox"/> track06 04:51
	<input checked="" type="checkbox"/> track07 03:28
録音情報	
トラック 5	
タイム 11:45	
開始	戻る
	すべて選択
	すべて取消

中止する  
全てのトラックを選ぶ  
全てのチェックをはずす

8. “開始”にカーソルを合わせ を押す録音が始まります。

カーソルを合わせて を押すと前のトラックが表示されます

CD録音	
オプション	トラック
速度 標準	track08 03:41
ビットレート 128kbps	<input checked="" type="checkbox"/> track09 04:45
ID3情報	track10 04:30
メディア USB	<input checked="" type="checkbox"/> track11 04:20
	<input checked="" type="checkbox"/> track12 04:51
	<input checked="" type="checkbox"/> track13 03:28
録音情報	
トラック 9	
タイム 11:45	
開始	戻る
	すべて選択
	すべて取消

開始にカーソルを合わせて を押す

- 録音が始まると、録音状態が表示されます。

CD録音	
録音中	トラック
トラック	track01 done
	track02 done
トータル	track03 38%
	track04 04:30
	track05 04:20
	track06 04:51
	track07 03:28
録音情報	
録音中	
トラック 02/15	

録音終了および録音中のトラック数/全録音トラック数

### 注意

- ※SDカードをLock(書き込み禁止)にしても録音・消去ができます。ご注意ください。
- ※録音を途中で中止した場合、それまでのデータが記録されます。
- ※録音データは“RIP\_000”内に保存されます。
- ※違うディスクを録音してもすべて“RIP\_000”内に保存されます。パソコンでフォルダーまたはTrack名を変えるか、曲名を入力してください。

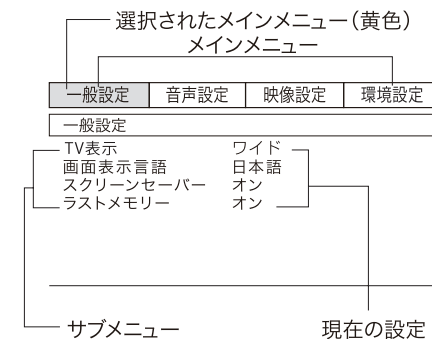
## DVD設定

- DVD設定では本製品にさまざまな設定をすることができます。
- 一度設定しますと、設定を変えるまでメモリに保存されます。

### 設定方法

1. 停止状態のとき を押す

設定画面が表示されます。



2. でメインメニューを選択し

または を押す

一般設定	音声設定	映像設定	環境設定
環境設定			
テレビ信号方式	NTSC		
音声言語	日本語		
字幕言語	日本語		
メニュー言語	日本語	英語	
初期設定	日本語		

現在の設定(茶色)  
設定項目

3. でサブメニューを選択し を押す

設定項目にカーソルが移動します。

- を押して設定項目にカーソルを移動することもできます。

4. で項目を選択する

選択したサブメニュー(緑色のカーソル)

一般設定	音声設定	映像設定	環境設定
環境設定			
テレビ信号方式	NTSC		
音声言語	日本語		
字幕言語	日本語		
メニュー言語	日本語	英語	
初期設定	日本語		

現在の設定(茶色のカーソル)  
新しい設定(緑色のカーソル)

5. を押す

※設定項目によっては設定の方法が異なります。それぞれの操作方法にしたがってください。

- 他にも設定するときは3.以下の操作を繰り返します。

- 他のメインメニューを設定するときは を押し、何もサブメニューが選択されていない状態に戻し、2.以下の操作をします。

6. DVD設定を終了するときは を押す

## DVD設定

一般設定	音声設定	映像設定	環境設定
一般設定			
TV表示		4:3/PS	
画面表示言語		4:3/LB	
スクリーンセーバー		16:9/ワイド	
ラストメモリー			

### 設定項目の選択

1. **決定** を押すと、設定画面が表示されます。
2. **左** **右** を押して、メイン項目(一般設定/音声設定/ビデオ設定/初期設定)を選択してください。  
選択された項目が緑色に表示されます。
3. **下** **上** を押すと、サブ項目を選ぶ事ができます。
4. **上** **下** を押して、サブ項目を選択すると茶色に表示されます。**決定** を押すか、**右** を押してください。  
また、**左** を押すごとに上項目に戻ります。
5. 設定を決定するとき **決定** を押すか、**▶/■** で決定します。
6. 設定を終了するとき **決定** を押してください。

※製品バージョンの違いにより設定内容が表と異なる場合がございます。  
 ※ディスクの種類によって、設定機能が反映されない場合がございます。  
 ※再生中は、一部の設定ができません。再生を完全に停止またはディスクやメモリーを取り外した状態で行ってください。

## DVD設定(一般設定)

### TV表示

テレビに接続して出力する際の画面サイズを設定します。

お好みの設定内容を選択して、**決定** を押してください。



4:3/PS



4:3/LB



16:9/ワイド

#### 4:3/PS(パンスカン)

「4:3」のテレビに接続した時のみ、選択してください。画面比が「4:3」で収録されたDVDの映像が正しい縦横比で出力されます。ワイド画面の映像は、画面比「16:9」のまま表示し、テレビ画面の上下は黒く表示します。

#### 4:3/LB(レターボックス)

画面比が「4:3」のテレビに接続した時のみ、選択してください。ワイド画面の映像は、画面比「16:9」のまま表示し、テレビ画面の上下は黒く表示します。画面比「4:3」の映像は、上下左右が黒く表示されます。

#### 16:9/ワイド

画面比が「16:9」のワイドテレビに接続した際に選択してください。ワイド画面の映像をそのまま表示します。画面比「4:3」の映像は、左右が黒く表示されます。

## DVD設定(一般設定)

一般設定	音声設定	映像設定	環境設定
一般設定			
TV表示	ワイド		
画面表示言語	日本語	英語	
スクリーンセーバー	オン	日本語	
ラストメモリー	オン		

### 画面表示言語

システムや画面表示に使用される、言語を設定します。

お好みの設定内容を選択して、**決定** を押してください。

**英語** : 英語で表示します。  
**日本語** : 日本語で表示します。

### スクリーンセーバー

スクリーンセーバー(画面焼き付き防止のための機能)の表示/非表示を設定します。

お好みの設定内容を選択して、**決定** を押してください。

**オン** : 停止中、約15分間無操作状態が続くと、スクリーンセーバーが働きます。

**オフ** : スクリーンセーバーを表示しません。

※本機は約35分間操作を行わない場合、スタンバイモードに移行します。スタンバイモードから復帰するには、リモコンの**電源** ボタンを押すか、本体の【電源スイッチ】を「切」の位置にして電源を切ってから、再度電源を入れてください。

※スタンバイモード中、本機の電源ランプは緑色に点灯します。

### ラストメモリー

ラストメモリーのオン/オフを設定します。設定でラストメモリーを「オン」に設定すると電源を切っても前回停止した位置から再生することができます。

#### <使用方法>

ビデオディスクの再生中に「停止」ボタンを1回押して停止させてください。ディスクドアを開けディスクの回転が停止したことを確認してから電源をオフにします。再び電源をいれたときに前回停止した位置から再生されます。

お好みの設定内容を選択して、**決定** を押してください。

**オン** : ラストメモリーが働きます。  
**オフ** : ラストメモリーは働きません。

※停止ボタンを2回押したときは、ラストメモリーは働きません。

※違うディスクと入れ換えたときは、ラストメモリーは働きません。

※画像ファイル再生中は、ラストメモリーは働きません。

※ラストメモリー(レジューム)機能は、DVD-Videoのみ有効です。録画されたディスクには対応していません。

※ラストメモリー(レジューム)機能は、ディスクによって制限があり、正常に動作しないことがあります。

## DVD設定(音声設定)

一般設定	音声設定	映像設定	環境設定
音声設定			
ステレオ		ステレオ	
ダイナミックレンジ		左モノラル	
		右モノラル	
		ミックスモノラル	

### ステレオ

ステレオ.....ステレオ音声を出力します。

左モノラル.....左チャンネルの音声だけを出力します。

右モノラル.....右チャンネルの音声だけを出力します。

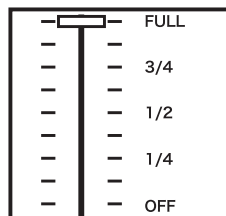
ミックスモノラル.....左・右モノラルを合わせた音声を出力します。

※ディスクによっては対応していない場合があります。

### ダイナミックレンジ

ドルビーデジタルのディスクを再生するとき、ダイナミックレンジを設定します。

▲▼で調節して決定を押します。



## DVD設定(映像設定)

一般設定	音声設定	映像設定	環境設定
映像設定			
シャープネス	中	高	
ブライトネス	00	中	
コントラスト	00	低	

### シャープネス

液晶画面の鮮明さを設定します。

高：鮮明さを「高」に設定します。

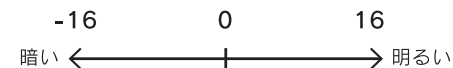
中：鮮明さを「中」に設定します。

低：鮮明さを「低」に設定します。

お好みの設定内容を選択して、決定を押してください。

### ブライトネス

液晶画面の明るさを設定します。

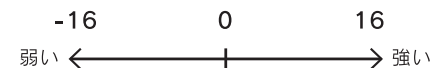


「ブライトネス」を選択して、決定を押したあと、◀▶ボタンを押して、-16~16の間で設定することができます。

決定を押して戻ります。

### コントラスト

液晶画面のコントラストを設定します。



「コントラスト」を選択して、決定を押したあと、◀▶ボタンを押して、-16~16の間で設定することができます。

お好みの設定内容を選択して、決定を押してください。

決定を押して戻ります。

## DVD設定(環境設定)

一般設定	音声設定	映像設定	環境設定
環境設定			
テレビ信号方式	NTSC	NTSC	
音声言語	日本語	自動	
字幕言語	日本語	PAL	
メニュー言語	日本語		
初期設定			

### テレビ信号方式

接続するテレビに合った信号方式を設定します。

ご使用のテレビに合った設定を選択して、**決定** を押し、決定してください。

**選択できる方式：NTSC・自動・PAL**

※日本のテレビでは「NTSC」方式を選択します。  
※NTSC方式のテレビで間違って、PAL設定にすると画面が乱れて、正常に視聴出来なくなります。  
必ずPAL方式のテレビを使用する時のみPALに設定してください。  
※PAL形式は動作保証外となります。

### 音声言語

複数音声を記録しているディスク再生時、優先される音声の言語を設定します。

お好みの設定内容を選択して、**決定** を押し、決定してください。

**選択できる言語：英語・日本語**

※ディスクによっては、設定した言語と異なる言語が優先されることがあります。

### 字幕言語

複数音声を記録しているディスク再生時、優先される字幕の言語を設定します。

お好みの設定内容を選択して、**決定** を押し、決定してください。

**選択できる言語：英語・日本語**

※ディスクによっては、設定した言語と異なる言語が優先されることがあります。

### メニュー言語

ディスクのメニュー画面の言語が複数記録されているとき、優先される言語を設定します。

お好みの設定内容を選択して、**決定** を押し、決定してください。

**選択できる言語：英語・日本語**

※ディスクによっては、設定した言語と異なる言語が優先されることがあります。

### 初期設定

リセット→工場出荷時の設定になります。

## テレビの使いかた

## [TV] 使いかた

### 本機で受信できるテレビ放送

- ・本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。地上アナログ放送・BSデジタル放送・110度CSデジタル放送は受信することができません。
- ・屋内でご使用になるときは、別売のアンテナケーブルを使用して、各部屋にあるアンテナ線に接続し、高画質の地上デジタル放送を、外出先では付属のロッドアンテナを使用して、地上デジタル放送やワンセグ放送を受信し、テレビ番組を楽しむことができます。

### 地上デジタル放送の特徴

- ・地上波のUHF放送(13ch～52ch)の周波数帯域を使用した放送です。最新のデジタル技術により、高画質(ハイビジョン放送)・多チャンネルのテレビ放送が可能です。また、音声信号を効率よく圧縮して放送することが可能で、原音に近い高音質な音声が楽しめます。
- ・デジタル放送で運用される各種サービスへの、本機の対応は以下の通りです。

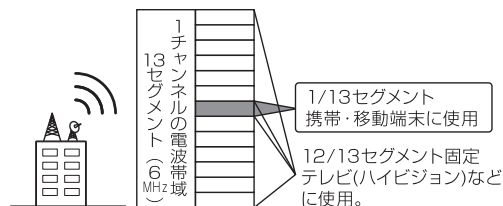
表示画質	標準画質(SD)	データ放送	×非対応
ケーブルテレビ方式	パススルー	双方向(データ放送)	×非対応
字幕放送	○対応	EPG(電子番組表)	○対応

### ご注意

- ・地上デジタル放送を安定して受信するには、地上デジタル放送の受信と対応したUHFアンテナが必要です。
- ・受信エリア内であっても、周囲の環境、アンテナの場所や向き、電波状況によっては受信できない場合があります。
- ・CATV(ケーブルテレビ)の受信には使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続方法や利用方法については、機器や会社ごとに異なります。ご加入になっているCATV会社にお問い合わせください。
- ・本機では地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。
- ・本機でPPV(ペイ・パー・ビュー)番組を購入することはできません。
- ・本機は地上デジタル放送のデータ放送サービスには対応していません。
- ・本機は緊急地震速報には対応していません。
- ・放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

### ワンセグ放送の特徴

- ・ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1つのセグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。



画質	携帯機器用のため、多少画質が粗くなったりします。
受信地域	地域や放送局によって異なります。

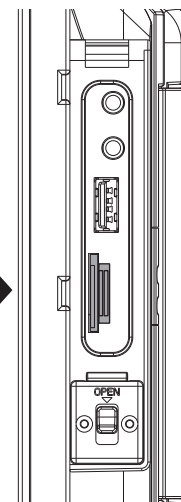
- ・地上デジタル放送地域の拡大により、ワンセグ放送受信可能エリアが拡大されましたが、放送局によってはワンセグが放送されていない場合があります。
- ・ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)によって提供されるサービスです。
- ・放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信は、お申し込みが不要な無料のサービスです。
- ・「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては、下記のホームページなどでご確認ください。  
【社団法人デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp>】
- ・ワンセグ放送には、ほとんどの番組にコピー制限があり、番組制作者などの著作権を守るための制御信号を入れて放送しています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- ・放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

## [TV] 使いかた

### miniB-CASカードを挿入する

- ・本体側面のminiB-CASカードスロットに、付属のminiB-CASカードを挿入します。
- ・"カチッ"と音がするまで奥に、しっかりと挿入してください。

- ※miniB-CASカードは、表面を画面側に、IC面をディスクカバー側に向けて挿入してください。



- ・本製品に同梱されているminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。
- ・miniB-CASカードは常に本機に挿入しておいてください。
- ・miniB-CASカードの登録や取り扱いについては詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。説明書はよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### ご注意

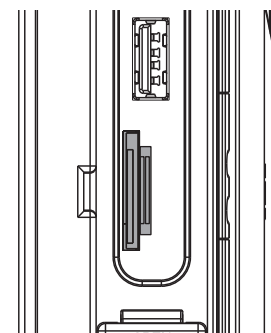
- ・miniB-CASカードスロットには、miniB-CASカード以外は入れないでください。故障や破損の原因となります。
- ・使用中にminiB-CASカードを抜き差ししないでください。

### お知らせ

- ・miniB-CASカードの破損・紛失・盗難などが発生した場合や本製品の廃棄などでカードが不要になった場合は、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

### miniB-CASカードを取り出すときは

- ・取り出すときは、中央部をいったん押し込み、出てきた端をつまんでゆっくり引き抜いてください。



## [TV] 使いかた

テレビ放送を視聴するときは、アンテナ(室内用アンテナケーブルまたは付属のロッドアンテナ)を使用してください。

### アンテナケーブルを接続する

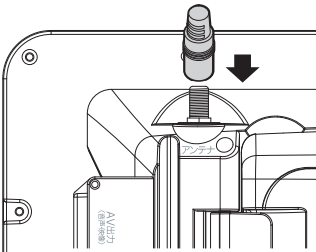
室内アンテナケーブルを、本体上部のアンテナ端子にしっかり差し込み、接続してください。



地上デジタル放送受信用アンテナへ接続します。(室内のアンテナ端子など)

### 家庭用アンテナ接続プラグ

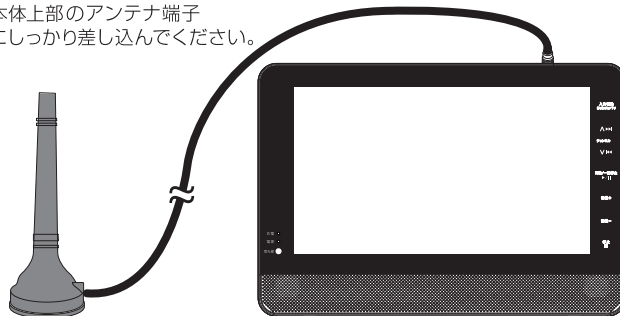
※ネジ式ですので、止まるまで手でしっかりと回してください。  
工具を使用して強く締めすぎると、破損することがありますのでご注意ください。



※本機の電源が切れていることを確認してから行ってください。

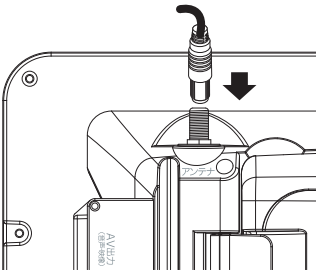
### ロッドアンテナを接続する

付属のロッドアンテナを、本体上部のアンテナ端子にしっかり差し込んでください。



### ワンセグ用簡易ロッドアンテナ

※ネジ式ですので、止まるまで手でしっかりと回してください。  
工具を使用して強く締めすぎると、破損することがありますのでご注意ください。



※本機の電源が切れていることを確認してから行ってください。

※顔や目に当たらないようご注意ください。

※ロッドアンテナ底面のマグネットが金属面に固定すると、より感度が上がります。金属面以外に設置する場合は付属のスチールボードにのせてください。

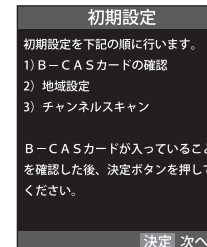
- 安定した受信のために、室内アンテナへの接続をおすすめします。
- 地域や場所、周辺環境によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できないことがあります。
- ロッドアンテナでテレビをご使用中は、受信できない場所や受信が不安定になる場所があります。
- UHFアンテナが設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更が必要になる場合があります。
- UHFアンテナは、同軸ケーブルをおすすめします。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- UHFアンテナは定期的な点検・交換をおすすめします。アンテナの設置場所は屋外のため、傷みややすく性能が低下します。
- 地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。  
詳しくは、共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 混合器・分波器・分岐器・ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選びください。
- 野外でのフルセグ放送の視聴はご利用できません。

## [TV] 使いかた

※テレビ放送を視聴するためには、受信できる放送を設定する必要があります。  
ご購入後、はじめて本機でテレビ放送を視聴する際は、以下の手順でチャンネルを設定してください。

### 初期設定を行なう

1. **機能切替** を押してTV (モード) にしてください。
2. はじめてTVモードに切換えると、以下の画面が表示されます。  
画面に従って初期設定を行なってください。

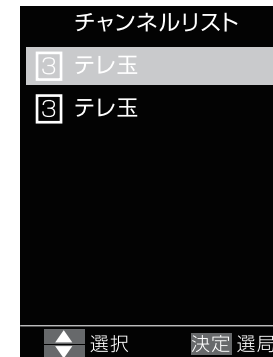


3. チャンネルスキャン後、チャンネル登録を完了するとテレビ放送が表示されます。

### チャンネルリストを見る

1. TV受信中に **チャンネルリスト** を押すと、登録されたチャンネルリストが表示されます。
2. **上** **下** を押してチャンネルを選択します。
3. **決定** を押すと、チャンネルが切り替わります。
4. **戻る** もしくは **チャンネルリスト** を押すと、チャンネルリストを終了します。

・チャンネルスキャンを行うときは、電波の安定している場所で行ってください。  
・受信状況の悪い場所でチャンネルスキャンを行ったり、チャンネルスキャン中に本機を移動したりすると信号を受信できないことがあります。  
・一度チャンネル設定を行うと、電源を切っても記憶され再設定の必要はありませんが、遠隔地への移動を行ったり、受信環境の変化により受信状況が変化した際は、再度受信状況の良い場所でチャンネルスキャンを行ってください。



## [TV] 使いかた



### 放送情報表示

視聴中、**決定** を押すと、画面上部に現在視聴中の放送局・CAP (字幕)・受信感度・多重放送の表示がされます。  
約5秒間表示され、自動的に非表示になります。  
(**決定** を押して手動で表示を消すこともできます。)

### チャンネルを切替える

リモコンの **▲** **▼** **CH-** **CH+** を押すと、チャンネルが切替わります。  
本体の **▲** **▼** でも切替わります。

### 音量を調整する

1. **音量+** を押すと、音量が大きくなります。
  2. **音量-** を押すと、音量が小さくなります。
- 本体の **音量+** **音量-** でも設定できます。

※音量は「00」～「20」の間で設定できます。  
・イヤホンをご使用になる際は、イヤホンを接続する前に必ず、音量を最小にしてください。

### チャンネルを入力する

リモコンの数字を押して、リモコン番号を入力し直接チャンネルを切り換えます。

- ※1～10の時は **1** ～ **0/10** を押し、  
11以上の時は最初に **10+** を押し、  
次に **0/10** ～ **9** を押します。

リモコン番号の確認は、チャンネルリストから行ってください。  
(44ページ《チャンネルリストを見る》参照)

### 音声を切替える

音声多重放送番組を視聴中に **音声切替** を押すと、音声が切替わります。

### 字幕を表示する

字幕放送番組を視聴中に、**字幕切替** を押すと、字幕の表示・非表示が切り換わります。

・リモコン番号は、全てのチャンネルリストには割り振られません。  
もっとも安定して受信できるチャンネルに設定されます。  
チャンネルを視聴する際は、チャンネル番号の設定されているチャンネルを選択すると、安定して視聴することができます。

## [TV] 使いかた

### 番組表を見る

1. 視聴中に **プログラム番組表** を押すと、現在視聴中の放送局の番組表が表示されます。
2. **▲** **▼** ボタンを押すと、リストを上下に送ることができます。
3. **◀** **▶** ボタンを押して放送局を選択し、**決定** を押すと、放送局を切替えることができます。
4. **戻る** ボタンもしくは、**プログラム番組表** を押すと番組表を終了します。

※番組情報の取得には時間がかかることがあります。  
※番組情報を取得の機会によっては、最新の情報が表示されないことがあります。  
※初めて視聴するときには、番組表が表示されなかったり、表示されないチャンネルがあったりします。

### 番組情報を見る

1. 視聴中に **リポート番組情報** を押すか、番組表を表示中に **リポート番組情報** を押すと、番組情報が表示されます。
2. **▲** **▼** ボタンを押すと、ページを切替えできます。
3. **決定** ボタンを押すと、番組情報を終了します。

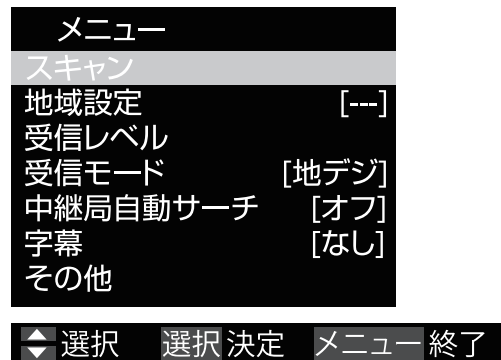
・地上デジタル放送の番組表や番組情報のデータは、放送電波によって伝送されます。アンテナを接続し、放送局を2～3分間視聴すると番組表や番組情報データを取得します。  
チャンネルを選択した直後は、番組表の表示が不完全なことがあります。  
その場合は、番組表を閲覧したいチャンネルを2～3分間視聴してください。

番組表	
	テレ玉
	631
今日	
11	25 番組名
	00 番組名
12	30 番組名
	00 番組名
13	データがありません
視聴中の番組名	
◀ 移動	決定 選局 番組情報 詳細情報

番組情報	
	031 テレ玉
番組名	
2018/11/11(木)	11:25~11:55
カテゴリ	
詳細情報	
◀ 詳細情報	決定 終了



## [TV] 使いかた



### メニュー項目の選択

1. (設定) を押しと、設定画面が表示されます。
2. (▲) (▼) を押して項目を選択し、(決定) を押し  
てください。

### メニュー画面を終了する

メニュー画面を終了するには、再度 (設定) を押し  
てください。

### スキャン

放送局のスキャンをおこないます。

#### 自動スキャン

放送局のスキャンを自動でおこないます。  
※現在登録されている放送局は上書き消去  
されます。

#### 追加スキャン

登録されている放送局に追加してスキャン  
をおこないます。

### 地域設定

お住いの地域の設定をおこないます。

### 受信レベル

放送の受信レベルを確認できます。

### 受信モード

受信モードの設定をおこないます。

#### 自動切換

電波状況に応じて地上デジタル/ワンセグを  
自動で切換えます。

#### 地上デジタル

地上デジタル固定に設定します。

#### ワンセグ

ワンセグ固定に設定します。

## [TV] 使いかた

### 中継局自動サーチ

長距離の移動などで登録された放送局の受信範囲  
から外れるなどして、放送が映らなくなったとき、  
チャンネルスキャンをおこなわなくても自動で現在  
地付近の受信できる中継局をサーチします。  
※電波の状態によっては、受信範囲内でも自動サ  
ーチ機能が働く場合があります。

#### オン

視聴中に受信している電波が弱くなったとき、  
視聴中のチャンネルの電波の強い中継局または  
系列局を探して、切換えます。

#### オフ

電波が弱くなくても中継局や系列局に切換えま  
せん。

### 字幕

字幕表示の設定をおこないます。

#### なし

第1言語  
第2言語

### その他

#### B-CASカード確認

B-CASカードの情報を表示します。

#### 初期化

地上デジタル放送設定を工場出荷時の状態に  
もどします。

#### アップデート

システムのアップデートをおこないます。  
(通常使用しません)

## 故障かな?・・・と思ったら

### 本体

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内蔵充電電池の充電は十分にされていますか?(→P18)</li> <li>●ACアダプターまたはDCアダプターは正しく接続されていますか?(→P17)</li> </ul>
内蔵充電電池に充電されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の電源が入っていませんか?本機の電源が入っているときは、充電効率が下がります。本機の電源を切って、充電してください。(→P18)</li> </ul>

### 画面表示

画面が出ない・乱れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ブライトネス設定が最小または最大になっていませんか?(→P38)</li> <li>●ディスクに汚れやキズがついていませんか?(→P10)</li> <li>●ご使用になるソースが選択されていますか?(→P23)</li> </ul>
------------	---

### 音量

音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音量が最小になっていませんか?(→P22)</li> <li>●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか?(→P23)</li> <li>●一時停止、スロー再生、コマ送り再生、早送りまたは早戻しになっていませんか?</li> </ul>
--------	--

### 再生

再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクは正しくセットされていますか?(→P21)</li> <li>●本機で再生できないディスクが入っていませんか?(→P8)</li> <li>●リージョンコードは合っていますか?(→P9)</li> <li>●ご使用になるメディアが選択されていますか?(→P10)</li> <li>●結露していませんか?(→P51)</li> </ul>
操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクによっては特定の操作が禁止されていることがあります。(→P8)</li> </ul>
音声・字幕が切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクによっては操作を禁止しているものがあります。(→P26)</li> </ul>
字幕が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生中に再生速度を変更したり、チャプタースキップしたりすると、一時的に字幕が消えることがあります。</li> </ul>
自動的に再生されたり・止まったりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクによっては自動的に再生が開始されたり、特定の場所で自動的に再生が止まるものがあります。(→P24)</li> </ul>
再生開始に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●VRモードで記録されたディスクは、再生に時間がかかることがあります。</li> </ul>
アングル切り換えができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マルチアングルで記録されたディスクですか?(→P26)</li> </ul>
ディスクの最初から再生されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リピート再生が設定されていませんか?(→P25)</li> <li>●ラストメモリーが動いていませんか?(→P36)</li> <li>●プログラム再生していませんか?(→P27)</li> <li>●仮停止から再生開始していませんか?(→P24)</li> </ul>
画像ファイル・動画ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対応したフォーマットですか?(→P30)</li> <li>●対応しているフォーマットであっても記録状態や作成したアプリケーションによっては、再生できないことがあります。(→P30)</li> </ul>

## 故障かな?・・・と思ったら

### TV

受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●miniB-CASカードは正しく挿入されていますか?(→P42)</li> <li>●アンテナケーブルまたはロッドアンテナは正しく接続されていますか?(→P43)</li> <li>●チャンネル設定(スキャン)は行いましたか?(→P44)</li> <li>●CATVの場合は、ご契約のCATV会社に、その他の共聴システムの場合は、共聴システムの管理者にお問い合わせください。</li> </ul>
字幕が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●視聴中の放送が字幕表示に対応していない場合は、字幕は表示されません。(→P46)</li> </ul>
映像が乱れる・止まる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ロッドアンテナは正しく接続されていますか。(→P43)</li> <li>●ロッドアンテナの位置を調節してください。ロッドアンテナの位置やコードのたるみによって受信状態が変化します。</li> <li>●受信状態が不安定な場合、映像が乱れたり、止まったり、音声が途切れたりすることがあります。</li> </ul>
チャンネルがすぐに表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チャンネルを切り換えた際、受信した信号を表示するための処理に数秒かかります。</li> </ul>

## その他のご注意

- ・本製品はブルーレイディスクには対応しておりません。
- ・市販されているDVDビデオディスクであっても、正しく再生できないことがあります。
- ・DVD-R/DVD-RWは、記録状態によっては再生できないことがあります。
- ・MP3形式やJPEG形式のファイルを記録したCD-R/RWを再生する事ができますが、ディスクの品質や記録状態によっては再生できない場合があります。
- ・CDにキズや指紋、汚れなどがついていると再生できないことがあります。
- ・本機は使用方法により、ご使用者の周辺環境に騒音などの影響を与えることがあります。本機をご使用になるときは、音量調節などをして、一般常識の範囲内でご使用ください。
- ・スピーカーの出力音声は、外部からの影響を受けノイズを発生することがあります。設置の際は、本機及び家電品等のケーブルや電源コードが絡まないようにしてください。
- ・本機を正常にご使用以外で発生した不具合・故障などの問題、使用上発生する経年劣化・使用環境に影響される不具合、周辺環境への問題などに関しまして、弊社では一切の責任を負いかねます。
- ・お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。
- ・USBメモリなど、使用状況によっては保存されているデータに破損・消去などが発生する場合があります。データに破損・消去などが発生した場合でも、データの補償・保護・回復等に関しては一切お受けできかねます。
- ・この製品の故障・誤動作・不都合などによって発生した以下にあげる損害などの付随的損害補償につきましてはその責任を負いませんので、予めご了承ください。
  - お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
  - お客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## お手入れのしかた

本体の汚れは、ぬるま湯に浸したやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取った後、乾いた布で軽く拭いてください。※お手入れの前に必ず、全ての接続機器を取り外し、本機の電源を切ってください。

### ■お手入れに関するお願い

- ・お手入れには、シンナー・アルコール・ベンジン等、使用しないでください。
- ・化学ぞうきんや、研磨剤入りの洗剤などは使用しないでください。
- ・スプレー(殺虫剤や掃除用等)をかけないでください。
- ・お手入れの後は必ず、本体が乾いてからご使用ください。

## 結露について

寒いところから急に暖かい場所へ移動させるとレンズに水滴がついたり、曇ったりする『結露現象』が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して、数時間放置してください。結露が取り除かれると正常に動作するようになります。

## 免責事項

- ※地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤操作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

### ■DVD/CDについて

※DVD、CDの使用から生じる傷や汚れに関して、当社は一切責任を負いません。

### ■データについて

- ※MP3ファイルやJPEGファイルで大切なデータはパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。本製品で使用するることによって、万一何らかの不具合が生じた場合、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※誤った使い方をするとデータが破損・削除されることがあります。記録されたデータの破損・削除については、故障や損害の内容・原因に関わらず、当社は一切責任を負いません。

## 著作権について

- ・他者の著作物または歌唱、演奏等の録音物を私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の許諾を得ずに複製・使用することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。また、実際に配布、配信が行われているか否かにかかわらず、私的な目的で作成した複製物であっても、他者の著作物または歌唱、演奏等の複製物を著作権者および他の権利者の許諾を得ずに、配布または電気通信等の手段で配信が可能なる状態にすることは禁止されています。
- ・ディスクを無断で複製・放送・上映・有線放送・公開演奏・レンタル(有償、無償を問わず)することは法律で禁止されています。
- ・ビデオデッキなどを接続して、ディスクの内容を複製してもコピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。
- ・本書に記載されている会社名・製品名・ロゴマークは、一般に各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、「TM」「®」は明記しておりません。

## 製品仕様

液晶パネル	10.1インチTFT液晶
パネル解像度	1,024×600
ステレオフォン出力端子	φ3.5mmステレオイヤホン×1
映像/音声:出・入力端子	AV出力端子×1、AV入力端子×1
対応ディスク	DVD/DVD±R/DVD±RW/CD/CD-R/CD-RW
対応フォーマット	MPEG1/MPEG2/AVI/JPEG/MP3/DVD-Video/DVD-VR(CPRM) ※DRM(デジタル著作権管理)ファイルには対応しておりません。 ※長時間録画/長時間モードで記録されたディスクは正常に再生できない場合があります。
スピーカー出力	1.5W+1.5W
S/N比	80dB
ビデオ出力	1Vp-p
テレビ信号方式	NTSC/自動/PAL(※PAL形式は動作保証外となります。)
受信チャンネル	地上デジタル放送/ワンセグ放送 ----- UHF 13~62 ch
B-CASスロット	miniB-CAS×1
USB端子	Ver.2.0・最大32GB
SD端子	SD/SDHC・最大32GB
使用条件	動作環境: 5℃~35℃ ----- 保存環境: 5℃~35℃
電源	ACアダプター: 入力 AC100V-240V 50/60Hz 出力 DC12V 1.5A ----- 車載用DCアダプター: 入力 DC12V(24V車不可) 出力 DC12V
充電時間	約)3時間
再生時間	約)2時間(ソフトによって異なります)
最大消費電力	約)10W(ACアダプター使用時)
本体質量	約)1,270g
本体サイズ(約)	約)285(W)×205(H)×40(D)mm
内蔵バッテリー	1,600mAh/7.4V(リチウムポリマー)
カラー	ホワイト(スクリーンフレーム部分ブラック)
防水規格	本体:IPX6相当 リモコン:防滴仕様
付属品	リモコン、リモコンテスト用電池、ACアダプター、車載用DCアダプター、 ----- 家庭用アンテナ接続プラグ、地上デジタル専用 miniB-CASカード、 ----- AVケーブル、車載用バッグ、イヤホン、ワンセグ用簡易ロッドアンテナ ----- スチールボード、取扱説明書兼保証書

※外観及び仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

## アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理(有料)をご依頼ください。

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

■取扱説明書「安全上のご注意」の記載事項を守ってお使いください。

思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日より1年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

商品に保証書を添えてお買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。

※弊社は出張修理サービス等を行っていません。

※修理をご依頼いただく際の輸送箱は、お客様自身でご用意をお願いします。

「修理規定」に基づき修理を承っております。

「修理規定」の最新版は弊社ホームページでご確認いただけます。

アグレクションホームページ

<https://www.agresione.co.jp>

■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

## 保証条件の内容

- ・保証期間内の製品については、保証規定とあわせて「修理規定」も必ずお読みください。同意いただいたうえで、アフターサービスをご依頼ください。
- ・本規定は予告なく変更する場合がございます。本規定の最新版は、当社ホームページでご確認いただけます。なお、本規定は常に最新版を適用するものとします。
- ・延長保証など、当社保証とは別の保証を利用される場合は、修理品送付前に販売店にお問い合わせください。
- ・保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ・保証期間は使用開始時期・使用期間にかかわらず、保証書に記載の期間です。修理後も保証期間に変更はありません。
- ・保証期間内であっても、保証内修理適用判断については、当社権限にて実施させていただきます。全て無料保証修理をお約束するものではありません。

- ①ご購入日から保証期間内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店又は当社カスタマーセンターにお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理いたします。
- ②本製品をネットオークション、ネットフリーマーケット、転売品、中古品またはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。
- ③本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。
- ④保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

当社によらない分解、改造（ソフトウェアを含む）、修理等が行われた痕跡がある場合。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送、強い衝撃等による故障または損傷。

※火災、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、虫害、鼠害、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、錆、カビ、たばこの煙等による汚れ、ゴミや埃などの異物混入、あるいは異常電圧などの外部要因による故障または損傷。

※一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用など）のご使用、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。

※保証書の提示がない場合。購入日が確定できるレシート、納品書、販売店からの発送メール等が無い場合。

※保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

※付属品（リモコン、アダプター等）と消耗品（バッテリー等）の交換。

※液晶パネルのドット抜けは製品の性質上、初期不良・修理・返品制度の対象外となります。

- ⑤サポート及び保証書は日本国内にのみ有効です。Effective only in Japan.

v1.05

## 製品保証書

品名	10.1インチフルセグ搭載 防水ポータブルDVDプレーヤー	型番	SU-101FWP
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	1年
お客様	お名前	印	
	ご住所		
販売店（記入のない場合は保証対象となりません） ※ただし購入日を確定出来る書類（レシート、納品書、販売店からの発送メール等がある場合は保証対象となります） 販売店名・住所・電話番号			

※本製品のサポートは日本国内限定となります。

※製品をお送り頂きます場合は必ずご連絡後をお願いします。

発売元：株式会社アグレクション

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1

カスタマーセンター

一般電話 048-940-5889 受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝祭日および弊社指定休日を除く）

<https://www.agrexsione.co.jp>